

磐田市総合計画後期計画策定のための基礎調査

磐田市自治会意識調査 報告書

平成23年3月

磐田市

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の概要	2
(2) 調査結果の見方	2
2 調査結果の概要	3
3 調査結果	7
(1) 貴自治会のことについて	8
(2) 地域（磐田市）の特性について	9
(3) 磐田市の今後の取り組みについて	15
(4) 協働のまちづくりについて	21
(5) まちづくり全般について（自由記述）	51
4 参考資料	65
アンケート調査	66

1 調査の概要

(1) 調査の概要

調査目的
調査項目
調査方法
回収結果

(2) 調査結果の見方

(1) 調査の概要

調査目的

本市では厳しい財政状況の中、事業の見直しにより捻出できた財源と人材で、市民に喜んでいただける新たな事業を実施したり、不足している事業へ配分したりするなど、選択と集中というメリハリのある投資を行っていく中で「温もりのあるまち磐田」の実現を進めている。

本調査は、「磐田市総合計画 後期計画」の策定にあたって、市民の目線に立って検討を行なうために、自治会のまちづくりに対する現状や要望等を把握し、計画づくりに活用することを目的として、以下のとおりアンケートを実施した。

調査結果は、市の施策の優先順位付けや市民と行政の役割分担などの基礎資料として活用する。

調査項目

- ・貴自治会のことについて
- ・地域（磐田市）の特性について
- ・磐田市の今後の取り組みについて
- ・協働のまちづくりについて（自由記述）
- ・まちづくり全般について（自由記述）

調査方法

- ・調査対象：磐田市内の全自治会長（平成 22 年度：342 人）
- ・実施方法：往復郵送（自治会長に調査票を郵送し、記入後返送してもらい回収）
- ・調査期間：平成 23 年 1 月 12 日（配布）から平成 23 年 1 月 31 日（回答期限）まで

回収結果

- ・有効回収数：273 票
- ・有効回収率：79.8%

(2) 調査結果の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがある。
- ・基数となる実数は N として掲載し、各グラフの比率は N を母数とした割合を示している。
- ・1 人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示している。この場合、その比率の合計は 100.0%を上回ることがある。

2 調査結果の概要

- (1) 貴自治会のことについて
- (2) 地域（磐田市）の特性について
- (3) 磐田市の今後の取り組みについて
- (4) 協働のまちづくりについて
- (5) まちづくり全般について（自由記述）

(1) 貴自治会のことについて（問1～問2）

- ・主に活動する地域では、「福田地区」が最多で約16%、次いで「豊田地区」、「竜洋地区」となっている。
- ・自治会への加入世帯数では、「100～199世帯」が最多で約31%、次いで「50～99世帯」、「20～49世帯」となっている。

(2) 地域（磐田市）の特性について（問3～問4）

- ・自治会活動にとって地域の強み（良い点、活かすべき点）と考えている点では、「地域活動（コミュニケーション、環境美化、防犯・防災）」が最多で約65%、次いで「地域の連帯感・協力等」が約61%であり、他の点を大きく上回っている。
- ・自治会活動にとって地域の弱み（悪い点、改善が必要な点）として考えている点では、「少子高齢化、人口減少」が最多で約51%、次いで「優秀な人材・リーダーの不在」、「地域活動への参加・協力意識」となっている。
- ・これらのことから、自治会活動において地域活動や地域の連帯感・協力等が現在地域の強みであると考えているものの、少子高齢化や人材不足、意識の変化などの要因で、今後の活動に不安を抱えているものと考えられる。

(3) 磐田市の今後の取り組みについて（問5～問6）

- ・特に重要であるものとして、「高齢者福祉の推進」が最多で約43%、次いで「地域医療体制の充実」、「地域防災対策・体制の強化」となっている。
- ・重要度が低いものとして、「男女共同参画の推進」及び「消費生活対策の充実」、次いで「住生活の向上」、「美しい街並みづくり」、「障害者福祉の推進」及び「市民の力を高める」となっている。
- ・特に優先すべきものとして、「高齢者福祉の推進」が最多で約33%、次いで「地域医療体制の充実」、「地域防災対策・体制の強化」となっており、特に重要なものと優先すべきものが一致していることがわかる。
- ・優先度が低いものとして、「男女共同参画の推進」、次いで「地域情報化の推進」及び「消費生活対策の充実」となっている。

(4) 協働のまちづくりについて（問7～問10）

- ・現在具体的に取り組んでいる事例では、「安全安心なまちづくり」に関する事例が最多で98件、次いで「計画推進のために」、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」に関する事例となっている。

・今後取り組んでみたいと考えている事例では、「計画推進のために」に関する事例が最多で83件、次いで「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」、「安全安心なまちづくり」となっている。

・自治会活動をする上で挙げている問題点では、「役員のなり手が少ない、又は調整が難しい」が最多で約78%、次いで「高齢者が進み、若い人の参加が少ない」、「活動に伴う役員の責任が重い」となっており、問4の結果から地域の弱みが自治会活動に影響を与えているものと考えられる。

・自治会の協働のまちづくりへの関わり方では、「興味がある内容なら参画したい」が最多で約34%、次いで「求められれば参画する」、「積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい」となっている。全体では、約8割を超える自治会が何らかの形で協働のまちづくりに参画したいと考えている。

・自治会と行政の協働のまちづくりで重要なものとしては、「自治会と市との間での情報の共有化（情報提供、身近な窓口の設置など）」が最多で約49%、次いで「政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと（地域別説明会、市政懇談会など）」、「自治会の意識改革（市の事業などへの積極的な参加・関与）」となっている。

(5) まちづくり全般について（問11 自由記述）

・まちづくり全般への意見では、「計画推進のために」に関する意見が最多で85件、次いで「交流と活力のあるまちづくり」、「住んで良かったとおもえるまちづくり」となっている。

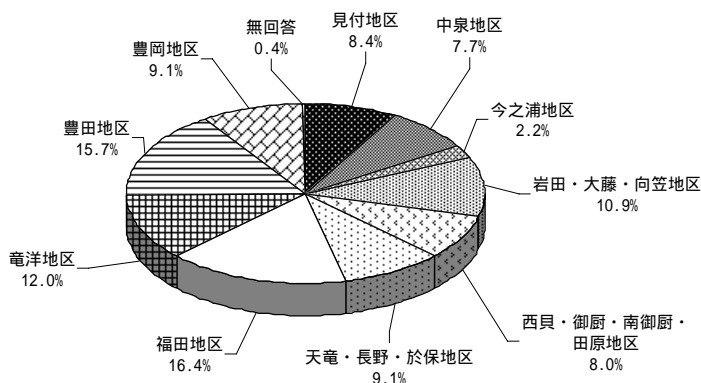
3 調査結果

- (1) 貴自治会のことについて
- (2) 地域（磐田市）の特性について
- (3) 磐田市の今後の取り組みについて
- (4) 協働のまちづくりについて
- (5) まちづくり全般について（自由記述）

(1) 貴自治会のことについて

問1 貴自治会が主に活動されている地域はどこですか？

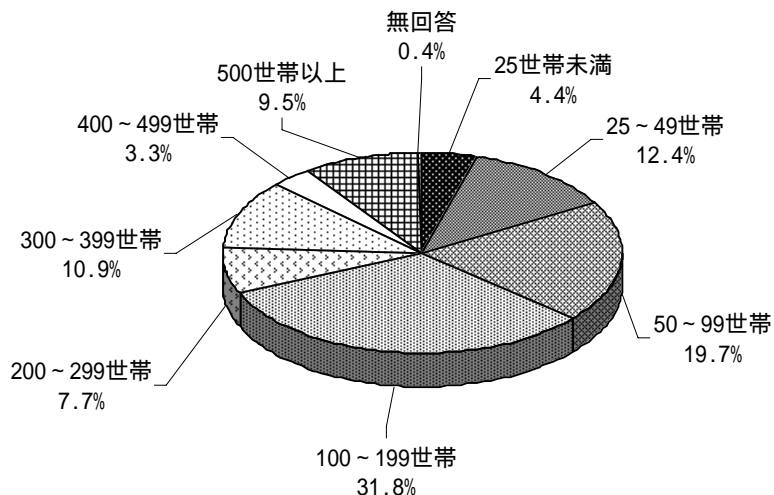
「福田地区」が最多で16.4%、次いで「豊田地区」が15.7%、「竜洋地区」が12.0%となっている。



	件数	割合
見付地区	23	8.4%
中泉地区	21	7.7%
今之浦地区	6	2.2%
岩田・大藤・向笠地区	30	10.9%
西貝・御厨・南御厨・田原地区	22	8.0%
天竜・長野・於保地区	25	9.1%
福田地区	45	16.4%
竜洋地区	33	12.0%
豊田地区	43	15.7%
豊岡地区	25	9.1%
無回答	1	0.4%
計	274	100.0%

問2 貴自治会の世帯数は？

加入世帯数では、「100～199世帯」が最多で31.8%、次いで「50～99世帯」が19.7%、「20～49世帯」が12.4%となっている。



	件数	割合
25世帯未満	12	4.4%
25～49世帯	34	12.4%
50～99世帯	54	19.7%
100～199世帯	87	31.8%
200～299世帯	21	7.7%
300～399世帯	30	10.9%
400～499世帯	9	3.3%
500世帯以上	26	9.5%
無回答	1	0.4%
計	274	100.0%

(2) 地域（磐田市）の特性について

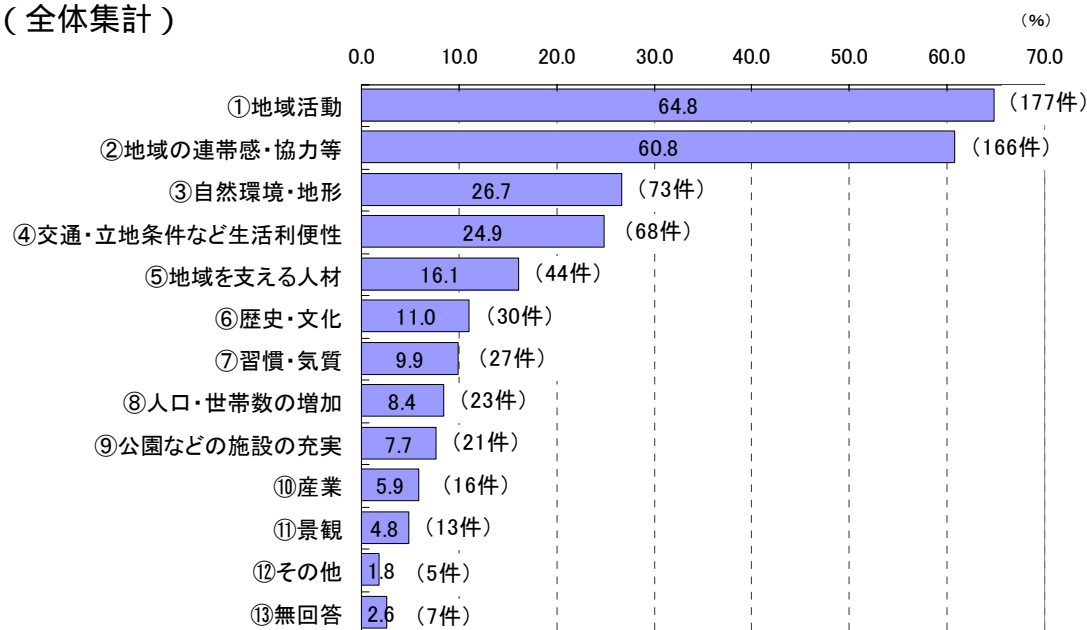
問3

みなさんが日頃活動されている地域の強み（良い点、活かすべき点）は何だと思
いますか。（3つまで選択可）

全体

「地域活動」が最多で64.8%、次いで「地域の連帯感・協力等」60.8%、「自然環境・
地形」25.6%となっている。

（全体集計）



N = 274

地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「地域活動（見付、今之浦、岩田・大藤・向笠、天竜・長野・於保、竜洋、豊田、豊岡）」が最多の7地区で、次いで「地域の連帯感・協力等（見付、中泉、西貝・御厨・南御厨・田原、福田）」の4地区となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	2 地域活動等 12件 52.2%	1 地域の連帯感・協力 12件 52.2%	8 交通・立地条件など 8件 34.8%	7 歴史・文化 8件 34.8%	5 自然環境・地形 4件 17.4%
中泉 (基数:21件)	1 地域の連帯感・協力等 13件 61.9%	2 地域活動 12件 57.1%	8 交通・立地条件など 8件 38.1%	3 地域を支える人材 7件 33.3%	7 歴史・文化 5件 23.8%
今之浦 (基数:6件)	2 地域活動 5件 83.3%	8 交通・立地条件など 3件 50.0%	5 自然環境・地形 2件 33.3%		
岩田・大藤・ 向笠 (基数:30件)	2 地域活動 25件 83.3%	1 地域の連帯感・協力等 21件 70.0%	5 自然環境・地形 17件 56.7%	8 交通・立地条件など 4件 13.3%	3 地域を支える人材 3件 10.0%
西貝・御厨・ 南御厨・田原 (基数:22件)	1 地域の連帯感・協力等 17件 77.3%	2 地域活動 15件 68.2%	3 地域を支える人材 7件 31.8%	5 自然環境・地形 6件 27.3%	7 歴史・文化 4件 18.2%
天竜・長野・ 於保 (基数:25件)	2 地域活動 18件 72.0%	1 地域の連帯感・協力等 13件 52.0%	8 交通・立地条件な ど生活利便性 7件 28.0%	5 自然環境・地形 5件 20.0%	3 地域を支える人材 7 歴史・文化 4件 16.0%
福田 (基数:45件)	1 地域の連帯感・協力等 30件 66.7%	2 地域活動 22件 48.9%	8 交通・立地条件な ど生活利便性 11件 24.4%	5 自然環境・地形 4 習慣・気質 8件 17.8%	11 人口・世帯数の増加 10 公園などの施設の充実 5件 11.1%
竜洋 (基数:33件)	2 地域活動 22件 66.7%	1 地域の連帯感・協力 等 20件 60.6%	5 自然環境・地形 3 地域を支える人材 11 人口・世帯数の増加 6件 18.2%	8 交通・立地条件な ど生活利便性 6 産業 4件 12.1%	7 歴史・文化 4 習慣・気質 10 公園などの施設の充実 3件 9.1%
豊田 (基数:43件)	2 地域活動 29件 67.4%	1 地域の連帯感・協力等 26件 60.5%	8 交通・立地条件な ど生活利便性 18件 41.9%	5 自然環境・地形 10件 23.3%	3 地域を支える人材 8件 18.6%
豊岡 (基数:25件)	2 地域活動 17件 68.0%	1 地域の連帯感・協力等 13件 52.0%	5 自然環境・地形 12件 48.0%	8 交通・立地条件な ど生活利便性 4件 16.0%	4 習慣・気質 6 産業 9 景観 3件 12.0%

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

25～49世帯、100～299世帯、400～499世帯及び500世帯以上の加入世帯である自治会では、「地域活動」を、99世帯以下、200～399世帯の加入世帯である自治会では、「地域の連帯感・協力等」を、400～499世帯の加入世帯では「交通・立地条件など生活利便性」を地域の強みとして考えている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
～25世帯 (基数:12件)	1地域の連帯感・協力等 9件 75.0%	2地域活動 6件 50.0%	5自然環境・地形 5件 41.7%	3地域を支える人材 2件 16.7%	
25～49世帯 (基数:34件)	1地域の連帯感・協力等 22件 64.7%	2地域活動 22件 64.7%	5自然環境・地形 12件 35.3%	8交通・立地条件など生活利便性 8件 23.5%	3地域を支える人材 4習慣・気質 4件 11.8%
50～99世帯 (基数:54件)	1地域の連帯感・協力等 35件 64.8%	2地域活動 30件 55.6%	8交通・立地条件など生活利便性 13件 24.1%	5自然環境・地形 12件 22.2%	7歴史・文化 7件 13.0%
100～199世帯 (基数:87件)	2地域活動 62件 71.3%	1地域の連帯感・協力等 50件 57.5%	5自然環境・地形 24件 27.6%	8交通・立地条件など生活利便性 22件 25.3%	3地域を支える人材 14件 16.1%
200～299世帯 (基数:21件)	2地域活動 12件 57.1%	1地域の連帯感・協力等 12件 57.1%	5自然環境・地形 6件 28.6%	8交通・立地条件など生活利便性 5件 23.8%	3地域を支える人材 5件 23.8%
300～399世帯 (基数:30件)	1地域の連帯感・協力等 19件 63.3%	2地域活動 17件 56.7%	5自然環境・地形 9件 30.0%	8交通・立地条件など生活利便性 7件 23.3%	3地域を支える人材 7歴史・文化 5件 16.7%
400～499世帯 (基数:9件)	2地域活動 5件 55.6%	8交通・立地条件など生活利便性 5件 55.6%	1地域の連帯感・協力等 3件 33.3%	5自然環境・地形 3件 33.3%	11人口・世帯数の増加 3件 33.3%
500世帯～ (基数:26件)	2地域活動 23件 88.5%	1地域の連帯感・協力等 16件 61.5%	8交通・立地条件など生活利便性 8件 30.8%	3地域を支える人材 8件 30.8%	11人口・世帯数の増加 4件 15.4%

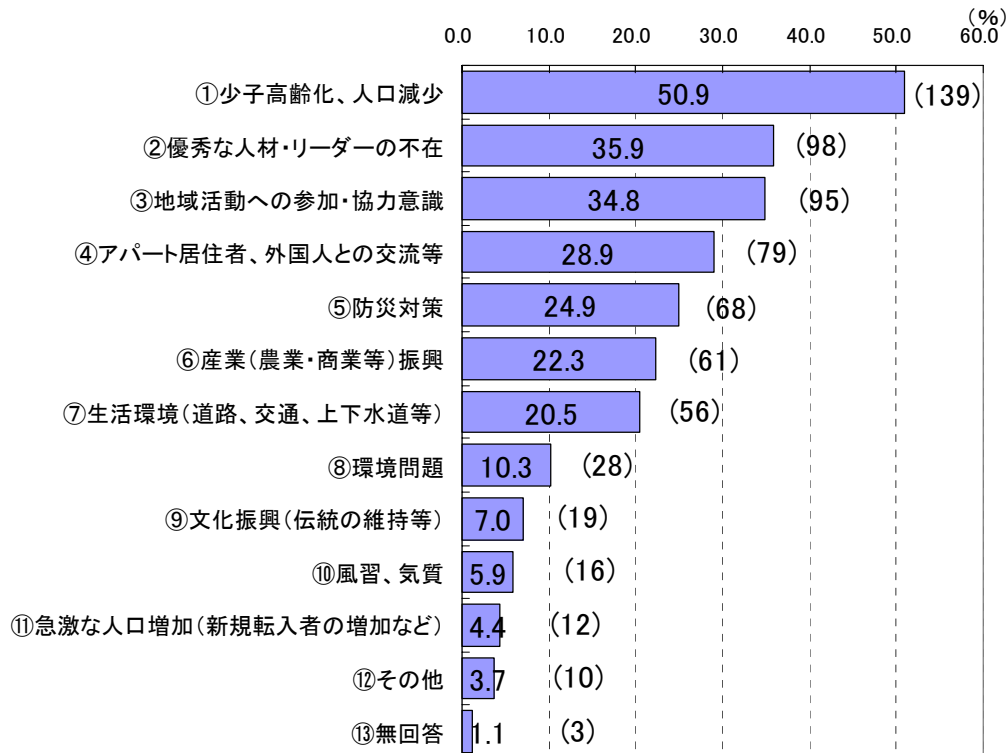
問 4

みなさんが日頃活動されている地域の弱み（悪い点、改善が必要な点）は何だと思えますか。（3つまで選択可）

全体

「少子高齢化、人口減少」が最多で50.9%、次いで「優秀な人材・リーダーの不在」35.9%、「地域活動への参加・協力意識」34.8%となっている。

（全体集計）



N = 274

地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「 少子高齢化・人口減少（中泉、岩田・大藤・向笠、天竜・長野・於保、竜洋、豊岡）」が最多の5地区で、次いで「 地域活動への参加・協力意識（見付、今之浦、豊田）」が3地区、「 アパート居住者、外国人との交流等（今之浦、豊田）」が2地区となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	2 地域活動への参加・協力意識 12 52.2%	1 アパート居住者、外国人との交流等 11 47.8%	10 少子高齢化、人口減少 10 43.5%	3 優秀な人材・リーダーの不在 9 39.1%	9 防災対策 8 34.8%
中泉 (基数:21件)	10 少子高齢化、人口減少 15 71.4%	1 アパート居住者、外国人との交流等 8 38.1%	3 優秀な人材・リーダーの不在 7 33.3%	2 地域活動への参加・協力意識 6 28.6%	9 防災対策 5 23.8%
今之浦 (基数:6件)	1 アパート居住者、外国人との交流等 4 66.7%	2 地域活動への参加・協力意識 4 66.7%	3 優秀な人材・リーダーの不在 3 50.0%	9 防災対策 2 33.3%	
岩田・大藤・向笠 (基数:30件)	10 少子高齢化、人口減少 24 80.0%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 12 40.0%	6 産業（農業・商業等）振興 10 33.3%	2 地域活動への参加・協力意識 7 23.3%	3 優秀な人材・リーダーの不在 9 防災対策 6 20.0%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:22件)	9 防災対策 10 45.5%	10 少子高齢化、人口減少 9 40.9%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 8 36.4%	3 優秀な人材・リーダーの不在 8 36.4%	2 地域活動への参加・協力意識 7 31.8%
天竜・長野・於保 (基数:25件)	10 少子高齢化、人口減少 12 48.0%	2 地域活動への参加・協力意識 11 44.0%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 10 40.0%	3 優秀な人材・リーダーの不在 8 32.0%	1 アパート居住者、外国人との交流等 7 28.0%
福田 (基数:45件)	3 優秀な人材・リーダーの不在 26 57.8%	10 少子高齢化、人口減少 23 51.1%	2 地域活動への参加・協力意識 16 35.6%	6 産業（農業・商業等）振興 12 26.7%	9 防災対策 11 24.4%
竜洋 (基数:33件)	10 少子高齢化、人口減少 14 42.4%	1 アパート居住者、外国人との交流等 12 36.4%	9 防災対策 10 30.3%	3 優秀な人材・リーダーの不在 9 27.3%	6 産業（農業・商業等）振興 8 24.2%
豊田 (基数:43件)	1 アパート居住者、外国人との交流等 18 41.9%	2 地域活動への参加・協力意識 18 41.9%	10 少子高齢化、人口減少 16 37.2%	3 優秀な人材・リーダーの不在 16 37.2%	6 産業（農業・商業等）振興 9 20.9%
豊岡 (基数:25件)	10 少子高齢化、人口減少 16 64.0%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 10 40.0%	2 地域活動への参加・協力意識 7 28.0%	3 優秀な人材・リーダーの不在 6 24.0%	6 産業（農業・商業等）振興 9 防災対策 6 24.0%

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

199世帯以下の加入世帯である自治会では、「 少子高齢化・人口減少」を、200～399世帯及び500世帯以上の加入世帯である自治会では「 アパート居住者、外国人との交流等」を地域の弱みとして考えている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
～25世帯 (基数:12件)	10 少子高齢化、人口減少 11 91.7%	9 防災対策 5 41.7%	6 産業（農業・商業等）振興 4 33.3%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 3 25.0%	3 優秀な人材・リーダーの不在 3 25.0%
25～49世帯 (基数:34件)	10 少子高齢化、人口減少 24 70.6%	3 優秀な人材・リーダーの不在 13 38.2%	9 防災対策 11 32.4%	2 地域活動への参加・協力意識 9 26.5%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 6 17.6%
50～99世帯 (基数:54件)	10 少子高齢化、人口減少 30 55.6%	3 優秀な人材・リーダーの不在 21 38.9%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 14 25.9%	6 産業（農業・商業等）振興 14 25.9%	2 地域活動への参加・協力意識 12 22.2%
100～199世帯 (基数:87件)	10 少子高齢化、人口減少 49 56.3%	3 優秀な人材・リーダーの不在 35 40.2%	2 地域活動への参加・協力意識 35 40.2%	9 防災対策 28 32.2%	1 アパート居住者、外国人との交流等 19 21.8%
200～299世帯 (基数:21件)	1 アパート居住者、外国人との交流等 12 57.1%	10 少子高齢化、人口減少 8 38.1%	2 地域活動への参加・協力意識 7 33.3%	9 防災対策 7 33.3%	6 産業（農業・商業等）振興 7 33.3%
300～399世帯 (基数:30件)	1 アパート居住者、外国人との交流等 16 53.3%	2 地域活動への参加・協力意識 16 53.3%	10 少子高齢化、人口減少 11 36.7%	3 優秀な人材・リーダーの不在 8 26.7%	6 産業（農業・商業等）振興 7 23.3%
400～499世帯 (基数:9件)	3 優秀な人材・リーダーの不在 7 77.8%	1 アパート居住者、外国人との交流等 5 55.6%	2 地域活動への参加・協力意識 4 44.4%	6 産業（農業・商業等）振興 3 33.3%	10 少子高齢化、人口減少 2 22.2%
500世帯～ (基数:26件)	1 アパート居住者、外国人との交流等 15 57.7%	2 地域活動への参加・協力意識 11 42.3%	8 生活環境（道路、交通、上下水道等） 9 34.6%	3 優秀な人材・リーダーの不在 6 23.1%	11 急激な人口増加（新規転入者の増加など） 5 19.2%

(3) 磐田市の今後の取り組みについて

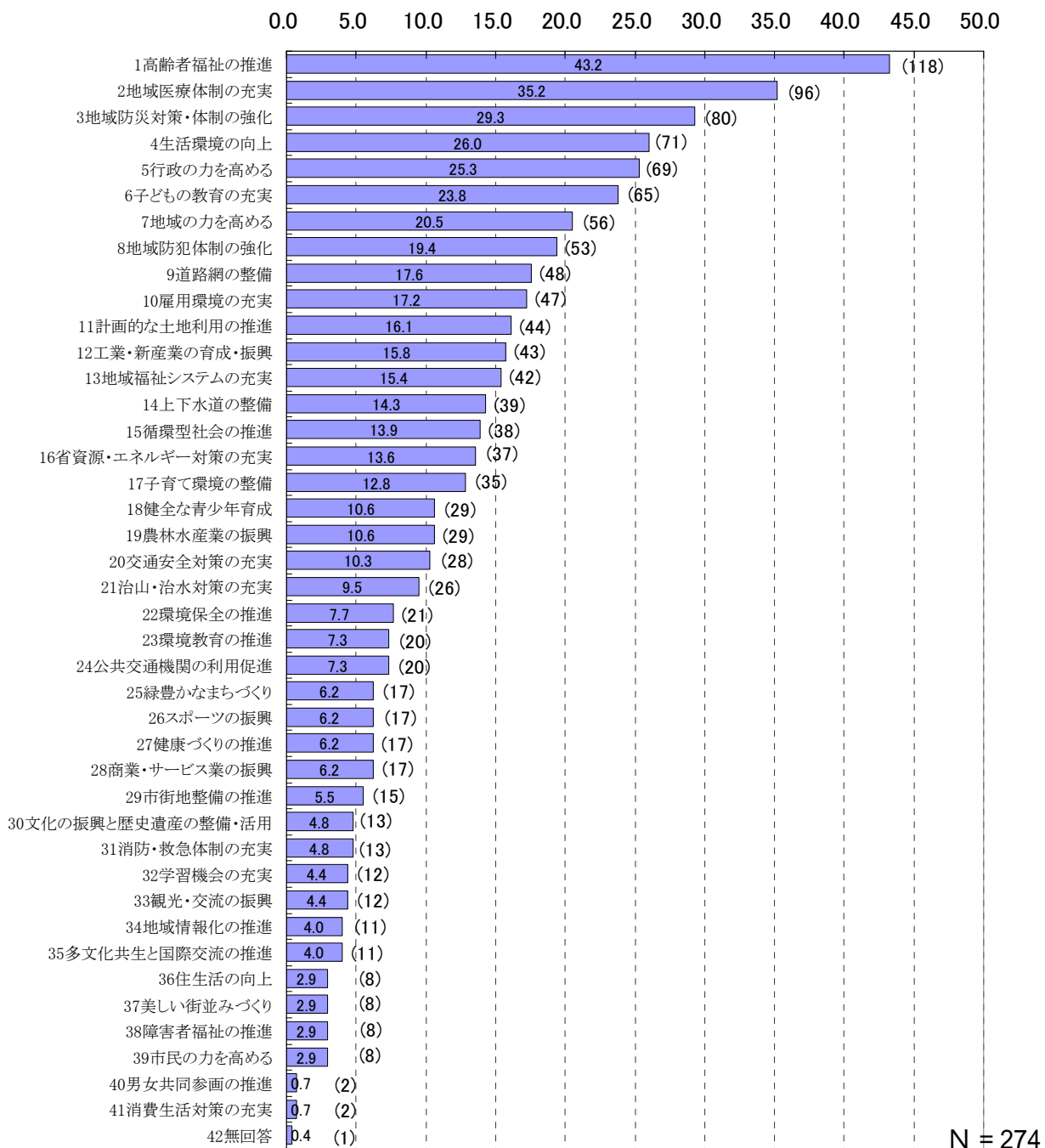
問 5

市では限られた予算の中で次のような取り組みを行っています。今後の取り組みとして特に重要であると思うものはどれですか。(5つまで選択可)

全体

「1 高齢者福祉の推進」が最多で 43.2%、次いで「2 地域医療体制の充実」35.2%、「3 地域防災対策・体制の強化」29.3%となっている。

(全体集計)



地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「1 高齢者福祉の推進（岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原、福田、竜洋、豊田、豊岡）」が最多の6地区で、次いで「3 地域防災対策・体制の強化（見付、中泉、今之浦、西貝・御厨・南御厨・田原）」が4地区、「2 地域医療体制の充実（天竜・長野・於保）」が1地区となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	22 地域防災対策・体制の強化 11 47.8%	30 高齢者福祉の推進 9 39.1%	15 子どもの教育の充実 8 34.8%	41 行政の力を高める 7 30.4%	33 地域医療体制の充実 9 道路網の整備 28 地域福祉システムの充実 6 26.1%
中泉 (基数:21件)	22 地域防災対策・体制の強化 9 42.9%	8 市街地整備の推進 8 38.1%	30 高齢者福祉の推進 7 33.3%	23 地域防犯体制の強化 7 33.3%	40 地域の力を高める 35 商業・サービス業の振興 15 子どもの教育の充実 41 行政の力を高める 6 28.6%
今之浦 (基数:6件)	22 地域防災対策・体制の強化 4 66.7%	30 高齢者福祉の推進 3 50.0%	33 地域医療体制の充実 3 50.0%	28 地域福祉システムの充実 3 50.0%	40 地域の力を高める 4 生活環境の向上 2 33.3%
岩田・大藤・向笠 (基数:30件)	30 高齢者福祉の推進 15 50.0%	33 地域医療体制の充実 12 40.0%	9 道路網の整備 11 36.7%	4 生活環境の向上 9 30.0%	22 地域防災対策・体制の強化 41 行政の力を高める 7 計画的な土地利用の推進 7 23.3%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:22件)	30 高齢者福祉の推進 8 36.4%	22 地域防災対策・体制の強化 8 36.4%	33 地域医療体制の充実 7 31.8%	4 生活環境の向上 7 31.8%	36 工業・新産業の育成・振興 10 緑豊かなまちづくり 6 27.3%
天竜・長野・於保 (基数:25件)	33 地域医療体制の充実 15 60.0%	30 高齢者福祉の推進 12 48.0%	41 行政の力を高める 10 40.0%	4 生活環境の向上 8 32.0%	6 上下水道の整備 15 子どもの教育の充実 38 雇用環境の充実 9 道路網の整備 2 省資源・エネルギー対策の充実 5 循環型社会の推進 6 24.0%
福田 (基数:45件)	30 高齢者福祉の推進 21 46.7%	33 地域医療体制の充実 18 40.0%	22 地域防災対策・体制の強化 13 28.9%	4 生活環境の向上 12 26.7%	40 地域の力を高める 12 26.7%
竜洋 (基数:33件)	30 高齢者福祉の推進 15 45.5%	22 地域防災対策・体制の強化 13 39.4%	33 地域医療体制の充実 12 36.4%	4 生活環境の向上 10 30.3%	41 行政の力を高める 9 27.3%
豊田 (基数:43件)	30 高齢者福祉の推進 18 41.9%	33 地域医療体制の充実 13 30.2%	4 生活環境の向上 10 23.3%	15 子どもの教育の充実 10 23.3%	40 地域の力を高める 28 地域福祉システムの充実 7 計画的な土地利用の推進 36 工業・新産業の育成・振興 10 23.3%
豊岡 (基数:25件)	30 高齢者福祉の推進 10 40.0%	15 子どもの教育の充実 9 36.0%	7 計画的な土地利用の推進 8 32.0%	41 行政の力を高める 7 28.0%	5 循環型社会の推進 7 28.0%

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

25世帯未満、25～49世帯、100～199世帯、200～299世帯及び300～399世帯の加入世帯である自治会では、「1 高齢者福祉の推進」を50～99世帯及び500世帯以上の加入世帯である自治会では、「2 地域医療体制の充実」を今後の取り組みで重要と考えている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
～25世帯 (基数:12件)	30 高齢者福祉の推進 7 58.3%	41 行政の力を高める 5 41.7%	33 地域医療体制の充実 5 41.7%	22 地域防災対策・体制の強化 4 33.3%	7 計画的な土地利用の推進 38 雇用環境の充実 36 工業・新産業の育成・振興 34 農林水産業の振興 3 25.0%
25～49世帯 (基数:34件)	30 高齢者福祉の推進 17 50.0%	4 生活環境の向上 15 44.1%	33 地域医療体制の充実 13 38.2%	22 地域防災対策・体制の強化 10 29.4%	38 雇用環境の充実 6 上下水道の整備 8 23.5%
50～99世帯 (基数:54件)	33 地域医療体制の充実 20 37.0%	30 高齢者福祉の推進 19 35.2%	41 行政の力を高める 18 33.3%	15 子どもの教育の充実 14 25.9%	4 生活環境の向上 2 省資源・エネルギー対策の充実 12 22.2%
100～199世帯 (基数:87件)	30 高齢者福祉の推進 41 47.1%	22 地域防災対策・体制の強化 29 33.3%	33 地域医療体制の充実 25 28.7%	15 子どもの教育の充実 22 25.3%	4 生活環境の向上 40 地域の力を高める 22 25.3%
200～299世帯 (基数:21件)	30 高齢者福祉の推進 11 52.4%	22 地域防災対策・体制の強化 8 38.1%	33 地域医療体制の充実 8 38.1%	4 生活環境の向上 8 38.1%	2 省資源・エネルギー対策の充実 7 33.3%
300～399世帯 (基数:30件)	30 高齢者福祉の推進 12 40.0%	33 地域医療体制の充実 11 36.7%	15 子どもの教育の充実 9 30.0%	22 地域防災対策・体制の強化 7 23.3%	36 工業・新産業の育成・振興 7 23.3%
400～499世帯 (基数:9件)	15 子どもの教育の充実 3 33.3%	22 地域防災対策・体制の強化 3 33.3%	41 行政の力を高める 3 33.3%	23 地域防犯体制の強化 3 33.3%	9 道路網の整備 5 循環型社会の推進 3 33.3%
500世帯～ (基数:26件)	33 地域医療体制の充実 12 46.2%	40 地域の力を高める 10 38.5%	30 高齢者福祉の推進 9 34.6%	22 地域防災対策・体制の強化 8 30.8%	15 子どもの教育の充実 9 道路網の整備 28 地域福祉システムの充実 7 26.9%

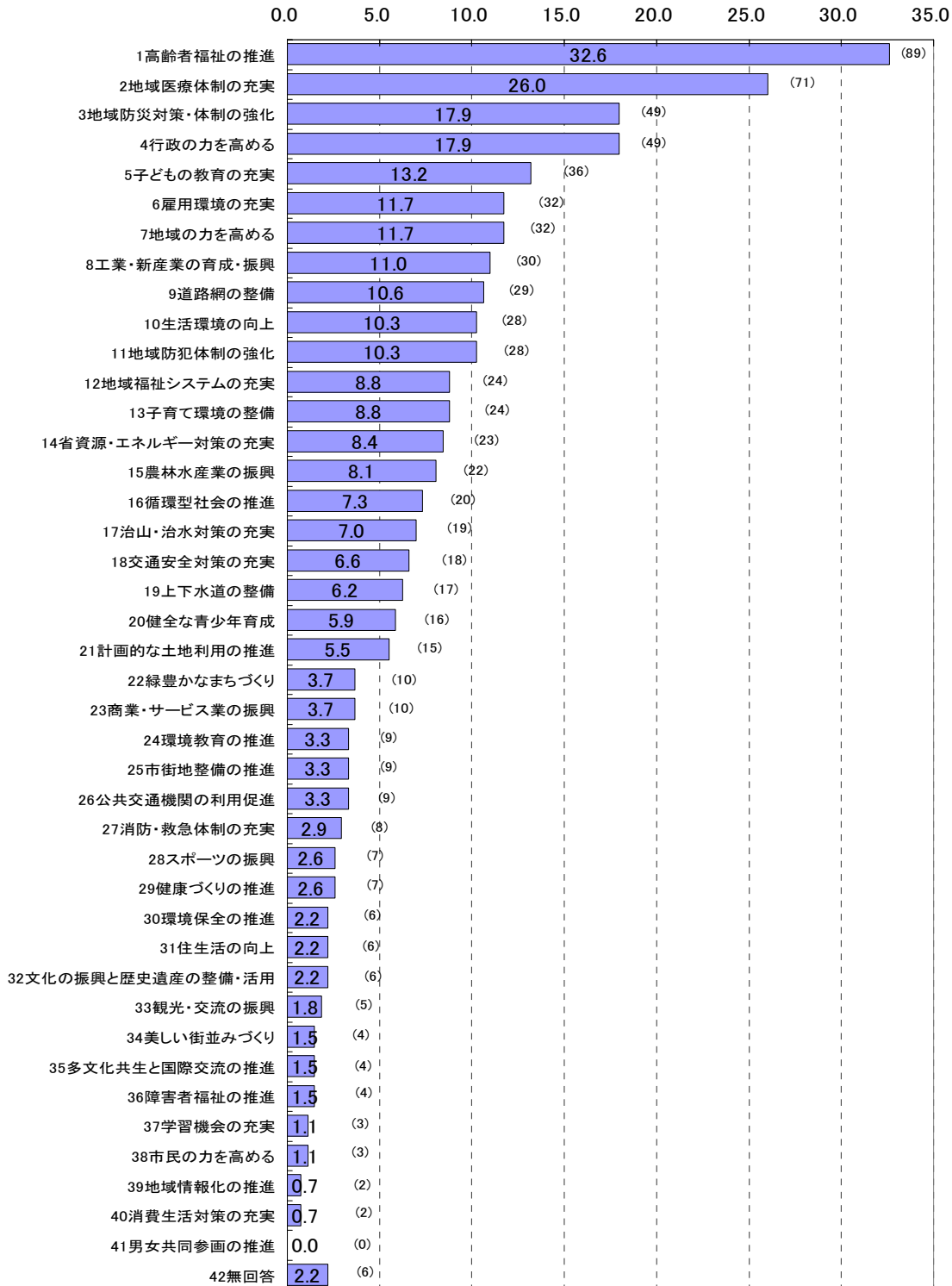
問 6

前問で選択した5つのうち、限られた予算において、特に優先すべきものはどれですか？（3つまで選択可）

全体

問5と同じく、「1 高齢者福祉の推進」が最多で 32.6%、次いで「2 地域医療体制の充実」26.0%、「3 地域防災対策・体制の強化」17.9%となっている。

（全体集計）



N = 274

地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「1 高齢者福祉の推進（見付、中泉、今之浦、岩田・大藤・向笠、天竜・長野・於保、福田、竜洋、豊田、豊岡）」が最多の9地区で、次いで「2 地域医療体制の充実（西貝・御厨・南御厨・田原、天竜・長野・於保、竜洋）」が3地区、「3 地域防災対策・体制の強化（今之浦、西貝・御厨・南御厨・田原）」が2地区となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	30 高齢者福祉の推進 8 34.8%	22 地域防災対策・体制の強化 7 30.4%	15 子どもの教育の充実 6 26.1%	41 行政の力を高める 4 17.4%	28 地域福祉システムの充実 4 17.4%
中泉 (基数:21件)	30 高齢者福祉の推進 6 28.6%	8 市街地整備の推進 6 28.6%	22 地域防災対策・体制の強化 5 23.8%	40 地域の力を高める 5 23.8%	23 地域防犯体制の強化 5 23.8%
今之浦 (基数:6件)	30 高齢者福祉の推進 3 50.0%	22 地域防災対策・体制の強化 3 50.0%	33 地域医療体制の充実 2 33.3%		
岩田・大藤・向笠 (基数:30件)	30 高齢者福祉の推進 10 33.3%	9 道路網の整備 8 26.7%	33 地域医療体制の充実 7 23.3%	22 地域防災対策・体制の強化 5 16.7%	38 雇用環境の充実 34 農林水産業の振興 5 16.7%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:22件)	33 地域医療体制の充実 6 27.3%	22 地域防災対策・体制の強化 6 27.3%	6 上下水道の整備 5 22.7%	10 緑豊かなまちづくり 5 22.7%	41 行政の力を高める 4 18.2%
天竜・長野・於保 (基数:25件)	33 地域医療体制の充実 10 40.0%	30 高齢者福祉の推進 10 40.0%	41 行政の力を高める 6 24.0%	4 生活環境の向上 5 20.0%	36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実 15 子どもの教育の充実 2 省資源・エネルギー対策の充実 4 16.0%
福田 (基数:45件)	30 高齢者福祉の推進 17 37.8%	33 地域医療体制の充実 13 28.9%	40 地域の力を高める 9 20.0%	22 地域防災対策・体制の強化 9 20.0%	41 行政の力を高める 36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実 7 15.6%
竜洋 (基数:33件)	30 高齢者福祉の推進 10 30.3%	33 地域医療体制の充実 10 30.3%	22 地域防災対策・体制の強化 8 24.2%	41 行政の力を高める 6 18.2%	15 子どもの教育の充実 4 生活環境の向上 6 18.2%
豊田 (基数:43件)	30 高齢者福祉の推進 14 32.6%	33 地域医療体制の充実 12 27.9%	41 行政の力を高める 7 16.3%	36 工業・新産業の育成・振興 7 16.3%	40 地域の力を高める 7 16.3%
豊岡 (基数:25件)	30 高齢者福祉の推進 8 32.0%	41 行政の力を高める 7 28.0%	38 雇用環境の充実 5 20.0%	15 子どもの教育の充実 5 20.0%	26 治山・治水対策の充実 5 20.0%

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

25世帯未満、25～49世帯、50～99世帯、100～199世帯及び500世帯以上の加入世帯である自治会では、「1 高齢者福祉の推進」を、25～49世帯、200～299世帯、300～399世帯及び500世帯以上の加入世帯である自治会では、「2 地域医療体制の充実」を磐田市が今後特に優先すべき取り組みと考えている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
～25世帯 (基数:12件)	30 高齢者福祉の推進 6 50.0%	33 地域医療体制の充実 5 41.7%	41 行政の力を高める 3 25.0%	38 雇用環境の充実 3 25.0%	34 農林水産業の振興 3 25.0%
25～49世帯 (基数:34件)	30 高齢者福祉の推進 10 29.4%	33 地域医療体制の充実 10 29.4%	4 生活環境の向上 7 20.6%	38 雇用環境の充実 6 17.6%	22 地域防災対策・体制の強化 6 17.6%
50～99世帯 (基数:54件)	30 高齢者福祉の推進 16 29.6%	41 行政の力を高める 15 27.8%	33 地域医療体制の充実 12 22.2%	15 子どもの教育の充実 8 14.8%	9 道路網の整備 8 14.8%
100～199世帯 (基数:87件)	30 高齢者福祉の推進 35 40.2%	33 地域医療体制の充実 20 23.0%	22 地域防災対策・体制の強化 16 18.4%	41 行政の力を高める 15 17.2%	40 地域の力を高める 14 16.1%
200～299世帯 (基数:21件)	33 地域医療体制の充実 7 33.3%	30 高齢者福祉の推進 6 28.6%	22 地域防災対策・体制の強化 6 28.6%	2 省資源・エネルギー対策の充実 5 23.8%	4 生活環境の向上 5 23.8%
300～399世帯 (基数:30件)	33 地域医療体制の充実 9 30.0%	30 高齢者福祉の推進 8 26.7%	22 地域防災対策・体制の強化 6 20.0%	36 工業・新産業の育成・振興 5 16.7%	28 地域福祉システムの充実 23 地域防犯体制の強化 15 子どもの教育の充実 4 13.3%
400～499世帯 (基数:9件)	22 地域防災対策・体制の強化 3 33.3%	15 子どもの教育の充実 3 33.3%	23 地域防犯体制の強化 2 22.2%	16 健全な青少年育成 2 22.2%	
500世帯～ (基数:26件)	33 地域医療体制の充実 7 26.9%	30 高齢者福祉の推進 7 26.9%	40 地域の力を高める 7 26.9%	41 行政の力を高める 5 19.2%	22 地域防災対策・体制の強化 28 地域福祉システムの充実 9 道路網の整備 36 工業・新産業の育成・振興 4 15.4%

(4) 協働のまちづくりについて

問 7

これからのまちづくりは、行政だけでなく、多様な担い手の協力が必要です。既に市内でも地域の問題解決や住みやすい地域にするための住民活動が動き出しています。そこで、貴自治会で地域のために取り組んでいる具体的な事例や工夫していることがありましたら、ご紹介ください。また、今後取り組みたいと思っていることも思っていることも教えてください。(自由記述)

現在取り組んでいること

162自治会から327件の具体的な取り組み事例が出された。これを、総合計画の基本目標で分類すると、「4安全・安心なまちづくり」が最多で97件、次いで「7計画推進のために」83件、「5やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」55件となっている。

総合計画 基本目標別項目	事例数
1 環境にやさしいまちづくり	50件
2 住んで良かったと思えるまちづくり	26件
3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり	13件
4 安全・安心なまちづくり	97件
5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	55件
6 交流と活力のあるまちづくり	3件
7 計画推進のために	83件
総計	327件

現在、取り組んでいる具体的な事例

327件の具体的な事例について、総合計画の施策の大綱(体系)に基づき、基本施策ごとに分類し、取りまとめた。

施策番号 ... 総合計画で示す「基本目標」「基本施策」「施策の内容」にある番号になります。

基本目標1 環境にやさしいまちづくり

取り組み内容
農地、水、環境を守る会
農地、水、環境向上対策
新豊院山古墳と里山のあり方
カワバタモロコ保護池周辺を整備して「水辺の里(公園)」づくりに取り組んでいる。
環境保全委員会(地区で発生した事柄を協議、検討する)。
省エネルギー化、ゴミを出さない。
ゴミ分別の必要性からゴミ処理施設見学会の実施。
河川の美化に取り組んでいる。
一斉草刈り後、河川へ流出した草を市、漁協、自治会が一体となり下流域への流出防止対策により改善を図ることができた。
土手の草刈り
アダプトロード、治山アダプト
年2回の二級河川の草刈り

取り組み内容
まち美化パートナー制度・・・自治会内の計画また市の要請があれば積極的に参加する。
不法投棄対策、河川清掃美化、定期的な草刈りの実施。
公園、河川の清掃、草刈
町内のポイ捨てゴミの収集
生活環境向上のため、自治会役員が雨の日以外毎日地域内のごみ拾いをしている。
太田川堤防と遊歩道の草刈り。
月1回地域内の清掃活動（空き官等のごみ拾い）
環境美化（道路余剰地へ植栽） 許可を得ている。
草刈り、排水路清掃
テクテクグリーン隊（環境美化）
草刈り作業
環境美化の一環として、地下道内の悪質な落書き（子どもたちの通学路）を行政の力を借りて消していただき、安心通学が可能となった。
生活廃水路の清掃（年1回）
公園の美化活動（三ヶ所）、今之浦川（中川）の草刈（年2回）
ごみ処理がスムーズにできるよう指導。
住みよい環境にするため工場周辺と周辺道路沿いの空き缶拾い（年4回）
環境美化、堀さらい、野けずり
まち美化ロードに参加し、地域の花壇整備、道路清掃
地区内のポイ捨て、ごみの散乱場所の相談が多くなっている（まちをきれいにしよう）。関心の向上。
一雲齊川の草刈りに努め河川美化と環境整備に努めた。
「環境美化活動の日」への区民参加。
アダプトロード（かぶと塚通りの美化）
花の会による美化活動等
河川道路の美化
月1回公会堂周りの清掃作業（組単位）
町内の環境美化、ペンキの塗り替え。
道路上の雑草の処理
環境美化活動
古紙回収事業
町内老人会（祭世話人で資源回収毎月1回活動。公民館の補修水洗トイレの設置、祭用屋台の備品等の費用の一部としている。）
家庭のゴミの出し方（燃やすごみ以外の物は収集日を決めて一ヶ所に集めている。この間自治会役員及び当番担当者が管理する。これは住民間の意思疎通を図り、連絡協調にも役立ち、かつ、ひとり暮らしの人などの情報も把握できる。

取り組み内容
ゴミゼロ運動
ゴミ出しのルールの徹底
ごみ出しの管理指導
ゴミ集積所の点検、分別指導
不法投棄のパトロール（月1回くらい） 看板設置してもたまにある。
ゴミの不法投棄対策
ゴミ不法投棄撲滅

基本目標2 住んで良かったと思えるまちづくり

取り組み内容
駅前に活気を。
道路網の整備。
旧道の整備依頼。
道路舗装（穴の補修）
道路の路肩崩れの補修。
公園、通学路の樹木が荒れたので、行政と打合せ整備に努めた。
通学路の安全対策
道路の安全向上対策（交通安全対策）
道路のアダプト補修（年4回自治会）
桜の植樹とその管理。
古川河川敷の草刈りと緑化活動。
花壇整備
花（老人会と一緒に）
松の植栽
公園草刈、樹木選定等、大原新町地先大池堤防草刈
環境にやさしいまちづくり（公園の芝生化、目にも環境にもやさしい、子供達、高齢者が素足で健康にも芝生の上での敬老会、底敷を利用したアジサイ（160株）、地域の人や通行人花を見て楽しむ。）
年3回の自治会内での公園排水の清掃、草刈り。
公園草刈り整備。
年2回子供の遊び場（2ヶ所）整備。
遊具の安全を考慮して移動。
協働を特に意識していない。より良いまちづくりを意識するのみであった。
用水路の草刈りを実施しなくてよい方向に持っていく。
地区内排水路整備、市に依頼、声を大にして。
生活環境の向上

取り組み内容
ゴミ集積場の清掃、修理
道路に張り出した生垣剪定（交通安全と景観形成）

基本目標3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり

取り組み内容
次代を担う子ども教育の推進・・・若葉の集い（今年は60回の節目の集いを開催、地域全ての組織団体が参画して実施する一大イベント）、花火教室、節分フェスティバル（地区社協を中心に実施）
子供会活動...新入生歓迎、祭典参加、クリスマス会、節分祭等、季節行事を行うこと。
男性、女性を対象とした諸講座（ストレッチ体操、編み物、料理等）
熊野の長藤祭り（実行委員会）への参加、協力。
屋台彫刻の完成、取付、披露。
新屋台建設において、1,000円/月で寄付を実施している。（10年計画）
町内の伝統文化の継承のため、関係者の会合を月1回行っている。
稲穂の国の文化伝承のため、毎年餅つき大会を実施。
夏祭り、ミニ門松づくり、餅つき大会
多文化共生では、日本人、外国人区別なく地域の行事参加を促す文書を作り、外国人戸に配布し少しずつ参加者は増えています。
50%が外国人世帯である。外国人に対して自治会役員の経験、自治会行事への積極的な参加を呼びかけている。行事参加を通じてより相互理解が深まるようにしたい。自治会行事内容の再検討を図っている。
外国人を対象とした特別な防災訓練を実施したりして、多文化共生への取り組み。
外国人アパート居住者との交流。

基本目標4 安全・安心なまちづくり

取り組み内容
寝たきり老人等の災害時の救助対策の検討
災害時の対応
災害時要援護者台帳を作成し、支援者が日ごろより見守り活動をする取り組み
地域防災対策の推進と体制の強化
防災対策について組織強化に心がけている
自主防災組織の充実、整備（防災本部スタッフの任期3年制）
災害時の迅速な安否確認のための黄色いタオルの表示
自主防災体制づくり
自主防災活動
大きな災害が（東海地震等）発生した時、外国人と地元の人達が同じ行動を取ることができるよう取り組んでいる。

取り組み内容
防災対策の強化
自主防犯活動に積極的に取り組んでいます。（パトロール等）
防災対策、隣近所地域の連携。
自主防組織に専門分野の応援依頼者として歯科医、重機、溶接等扱い者を明示。
4 地区合同の防災準連
自主防災会の再編（形態だけの組織からの脱皮）
防災意識の向上を目標に小グループによる防災懇談会を実施中。
防災の責任者を決定し、それが地区代表として活動している。
災害時の対応
防災訓練に小学生（子供会）参加を積極的に実施
防災訓練
自主防災の強化、訓練
防災意識の向上
災害に備え、可搬ポンプの使用方法を月 1 回点検、放水などを実施している。
防災小屋及びポンプ小屋の検討。
登下校時でのあいさつ、声かけ運動。
安全、安心で暮らせるため、防犯パトロールの実施。
地域の安全、安心のため集中防犯パトロール月間以外に月 2 回夜間パトロールを実施。
防犯活動の推進。
登下校時の見守りボランティア（小学校）
子供見守り隊パトロール（立哨）
地域の安全安心を保つため、夜間パトロールを定期的実施。
防犯意識の向上。見回り実施。
防犯パトロール
学童の下校時間の見守りとして 80 歳前後の高齢者が行っている。
子ども達の登下校の見守り
高齢者のパワーを防犯活動に活かす活動として子どもたちの通学路をパトロールする見守り隊を結成し活動を開始。（通学日は毎日実施）
市民の安全、安心のために地域の防犯活動
防犯パトロール、通学児童の見守り。
防犯灯点検、道路点検などのパトロール
見守りボランティア
老人会を中心に防犯パトロール
地域ぐるみの防犯活動（子供見守り等）
防犯、モラル向上（ポイ捨て、のぞき、徘徊の追放）の訴求アピール
青色防犯のパトロール活動、安全安心まちづくり地区内パトロール

取り組み内容
積極的に見回り活動を行っている。
小学生の登下校時の見守り、ボランティアの募集
防犯活動
安全会議の設立
地域の防犯活動推進
毎日1回役員にて地域内をパトロールしている。
防犯パトロールについて、自治会内各役員にお願いしてパトロールを行っていますが、参加者全員が出席率100%であることが防犯意識が高いこと。自治会を守る心意気ができている。今後も継続していきたい。
地区の安全安心まちづくり協議会の立ち上げ。
地域の防犯活動
安心安全ネットワークの設立（パトロール、声かけ）
防犯パトロール（夜間）
区民一体で防犯活動を始めた。
安全、安心のまちづくり
地域防犯体制の強化（月1回の防犯パトロール）
防犯パトロール、あいさつ、声かけ運動、小学生の登下校時の見守り。
不審者から子どもを守る為パトロール回数を増やし安全、安心な地域づくりを行った。
防犯（夜間パトロール、小学生下校時の観察）活動
平日昼間3回町内巡回パトロール、また各種団体、各種役員の協力による第2、第4金曜日町内夜間パトロールによる安全対策。
地域防犯体制の強化
ボランティアによる防犯活動を実施している。
防犯パトロールの参加者拡大
防犯、交通安全のため、ボランティアによる子どもの登下校時の見守り。
防犯の責任者を決定し、それが地区代表として活動している。
防犯パトロールの実施。
地区単位での防犯活動（安全安心まちづくり協議会設立）
防犯パトロール（月2回）
町防犯会の活動毎月2回実施（町内巡視、下校時、子供の見守り）
安全安心への町内の人々の協力と実現
小学学童帰宅時安全見守り活動
防犯活動として毎週水曜又は土曜日に夜7:30~8:30までパトロール実施。
地区自治会防犯パトロール
毎週区内をパトロール
防犯と交通安全（特に小中学生）の強化（見守り隊や青パトによるパトロール）

取り組み内容
青パトによる町内のパトロール
学校の通学路の登下校時の防犯パトロール
道路の安全向上対策（防犯対策）
4地区合同の防犯委員会設立他防犯パトロール等
夜間防犯活動、安全活動
三役（会長、副会長、会計）各自の巡回、車、自転車、徒歩で都合良い日
回覧配布時に防犯パトロールを実施
防犯のボランティア巡視
児童見守り活動（ボランティアの育成）
防犯マップの作成。
交通安全対策の推進と充実。
町内の人たちが常に参加できる交通安全教室。
安全会議の活動（地区）
交通安全
交通安全
交通安全指導
交通安全立哨
登校時の交通指導や見守り
児童の通学時、交通安全の見守り活動

基本目標5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

取り組み内容
ふれあいサロン立ち上げ準備。
子供の安全の為、登下校の旗振りを実施。これを拡大するため、来年度（23年4月）は学校と協力してそのボランティア大募集をする。（文章回覧）
老人会への支援ボランティア、協力会員を募集し、参加しやすい会を目指している。
子どもからお年寄りまで楽しめるいきいきサロン、ひまわりの会の運営。毎月第三日曜日
地区の活性化を促進するため、地区協議会を中心とした活動を推進しています。
地区社協の活動を少しずつ進めている。
弱者見守り、支援
地区合同で行っている高齢者いきいきサロンへの参加とボランティアによる支援。
お年寄りの方々の活動の場を設ける。
高齢者福祉の一環で高齢者サロンの開催推進。
老人クラブ活動の支援。
高齢者がいきいき暮らせるまちづくり。
老人会の発展、会員拡大

取り組み内容
いきいきサロンの月1回の実施。
4地区合同の敬老の集い開催
サロン（高齢者用）
会社人間から一町民へ、家に閉じこもりを行事への参加。
ふれあいサロンの充実
自治会の先輩に喜んでもらえるような敬老会に。
老人会による月1回の会合を利用し出前講座、花壇の整備、ラドン温泉、輪投げ、忘年会、新年会等を行っています。
高齢者の引きこもり対応策・・・お年寄りの家庭内引きこもりを防ぎ、明るく元気に過ごしてもらうために、月1回楽しい語らいや健康講座やゲームなどを行っている。そのためのお世話係として14名の中年女性のボランティアが活躍している。
高齢者の相互交流（ふれあいサロンの開催）
老人会いきいきサロンを開き、創作活動をしたり歌を歌って交流を深めている。
高齢者の見守り制度の運用
ふれあいサロン月1回。
老人会のスポーツに積極的に参加する。
高齢者の閉じこもりをなくすようお話の会に参加させる。
ふれあいサロン
敬老者との会話
高齢者の健康維持のため、朝のラジオ体操を公会堂で実施。
高齢者の健康増進、体力向上のための活動
高齢者世帯への自治会費減免の支援
弱者見守り、支援
高齢者の一人暮らしの見回り
高齢者に対する福祉マップの作成中（福祉、民生、自主防災での活用を目的とする。）
民生委員と共に高齢者、一人暮らし家庭への訪問
高齢者世帯への給食ボランティアサービス
町、福祉に関する懇談会の実施。自治会正副会長、老人会三役、民生、福祉、保健委員にて構成。年3回開催。情報交換、要援護者マップ作成等。
福祉の充実化
高齢者等に対するケアの充実と声かけ運動
見守り、サロンなど高齢者福祉の推進
高齢者への支援
高齢者宅（75歳以上）の配置図作成と役員への配布（民生、福祉との連携の強化）
高齢化社会の対応（多様な福祉活動への挑戦）

取り組み内容
高齢者社会における福祉（サロン等）の推進
個人の財産（会社で蓄積された）を各行事の際活用（電気、植木、大工、設計、先生 e t c）
弱者見守り、支援
要支援者世帯の掌握と支援（本人の理解を得た上で）
障害者の自宅に民生委員と連絡を取りながら問題解決に努めた
年 1 回ボランティア活動（知的障害者の生徒さん、親子さんとの地域交流会及び手伝い）現在自治会から 20 代～50 代の人達総勢 20～25 人位が手伝っています。
地域のグループホームと話し合い、お祭り、防災訓練等に参加をしてもらい交流を深めている。
福祉の充実化
障害者等に対するケアの充実と声かけ運動
町、福祉に関する懇談会の実施。自治会正副会長、老人会三役、民生、福祉、保健委員にて構成。年 3 回開催。情報交換、要援護者マップ作成等。
ハイキング（10km）の実施（健康づくり&コミュニケーション）、子ども、高齢者の参加を中心。
食育に取り組んでいる。

基本目標 6 交流と活力あるまちづくり

取り組み内容
グリーンツーリズムによる地域ビジネスの模索、都市との交流。ビジネスは地域が元気になり高齢者が活動します。財源に裏づけされた自治会は自立できます。すなわち、行政コストの削減になり広義の福祉政策と考えます。
軽トラ市をバネに。
住民世帯の 1/3 が非正規雇用で、一見普通に見えるが自治会費の支払いすら困っている家庭があり、パブルのはじけた H3 年以前には見られなかった。08 年のリーマンショック、サブプライム問題から一気に悪くなった。自治会費のあり方どうするか、思案中。

基本目標 7 計画推進のために

取り組み内容
自治会の仕事が多くなり、自治会長、副自治会長を 2 名、3 名体制にした。
世帯数が少ないことから全員が自治会長経験があるため、問題解決が早いため、他の地域でも役員経験者を増やし行政に協力的な人材を増やす。
自治会の役員と市当局から選任依頼の各委員を多くの方々に分担するように従来の慣例を是正しつつある。当自治会は自治会役員の任期が終了すると各委員を担当する例が長く続いている。自治会の活動状況を理解してもらうために広く業務を分担する方法がベターである。
50 歳以下の活用、70 歳以上に相談役を。
まだ進行中であるが、各団体の定年制を設け道をつくる。祭典 青年団 中老会 大老会。
地域住民の意見を上部まで反映させること。

取り組み内容
自治会単体としてはガスパイプ埋設工事についての住民説明会を1回実施しましたが、今後まだ住民の賛同を得るのに説明会が必要です。市として自治会に対してルートの決定を任せられても困難さが残ります。どうしてこのルートが市として最良かを住民に説明してほしいです(市のスタンスは立法安全上の許認可のみ)。
自治会組織の再編(人口増加のため)
福祉委員、祭典委員等、各専門部との意見交換会を開催し、活動の問題点を検討している。
自治会役員の選出制度の明確化
今、連合自治会は地区としての活動になっております。単独自治会の活動より地区としての活動に目を向けてほしい。
自治会のサポート役として良くする会を作っている。
安全安心まちづくり協議会の立ち上げ
17年経過した自治会規約の見直しを実行し、無駄な予算、労力をもっと有効に使いたい。
自治会費を集めて行う自治会の活動は公共事業であるという。自治会は住民への意識改革 総会での取り組み。市行政とのやり取りは対等であり、要望する、しない、要求へのやる、やらないは真剣勝負の覚悟で当たること 総会で説明
正確な情報が伝わるよう定例会(毎月開催)や回覧物を工夫。定例会での取り決め事項は必ず覚書として残している。
自治会活動内容の分類、整備。
自治会長より班長への注文と実行(班長は班の代表意識付け)(各当番で責任感を持つ。)
各団体の事業の継続
資源回収の財源を災害発生時に使うため、緊急対策基金の積み立て。
地域の人達との会食会が年3回位ある。(雑談会)
地域活動への参加協力
次代を支える為の町内長老~熟年層での懇談会(飲み会)
コミュニケーションを高めること。
町内の意見の集約
明豊会活動
地域住民のコミュニケーションを高めるため、自治会独自の祭りを毎年行っている。
老人会の方々と子供達との交流についてイベントを通して交流を図っている。
地区民の連帯感の醸成(バス旅行、餅つき大会、バーベキュー大会)
あいさつ運動(住民との会話、自然に声が出せるよう話しかける。)
住民のコミュニケーション
地域活動への積極的参加の呼びかけ(祭典、スポーツクラブ、老人クラブへの加入等)
福祉委員が主になって子どもから大人までのふれあい活動(楽会)をしている。
グループホームのスタッフと2ヶ月に1回、3自治会長とで親睦会を開催している。
自治会役員の負担を減らすための方法(会計はキャッシュカードを使えるように)

取り組み内容
非定期ですが、「自治会だより&お願い」を発行（回覧）し、役員が感じている課題、対応策を提示することにより住民が感じている不具合を発言しやすくしている。
自治会員の各行事への参加要請（防災訓練、防犯見回り、ポイ捨て等）
祭りなどでみんなのつながりを深めている。
地域のコミュニケーションを図るため1月1日に新年会、9月に日待と公会堂において懇親会を実施。
祭典を中心とした若い人達の自治会への参加。
ふれあいサロンの立ち上げ（22年度は試行実施）。参加は地域全住民対象、地域の活性化、連帯感、健康づくり等
組の再編成、23組から12組へ（世帯数平均化、高齢化対応）
秋の祭典は自治会全体で取り組んでいる。（子供会、PTA、婦人部、自治会役員、青年の若衆も会を作って活動している。）
地域住民とのコミュニケーションを図るため積極的に会合を開く。会合後懇親会を開き、開放された中で意見を交わす。
「協働のまちづくり」を自治会員の皆さんに理解していただく。（まだまだ行政からの押し付けと感じている人が多い。）
高齢化率が非常に高くなっており、一人暮らしや高齢者世帯が多くなり、地域のコミュニケーションをできるだけ取っている。
夏に区民の親睦を図るため納涼祭りを実施している。
農家が多く、非常に協力的でないので取り組みができない。
自治会役員活動の負荷を削減し、活動しやすい自治会を目指してきました。
会員相互のコミュニケーションを図るための事業の推進
自治会役員の選出方法（特に自治会長）
地域の連携、近所づきあいを密にする。
地区自治会主催の敬老会開催
地区住民一体となった祭典参加
地域住民の親睦を図るための取組み（屋台の新造）
高齢者から子どもまで世代間交流
グランドゴルフ大会、3～4月花見会（自治会内）の計画。
アパート住人を積極的に誘い親睦会
お祭りにできるだけ幅広い年齢層に参加してもらう。
老人会、子ども会の合同で七夕会等
高齢者の地域づくりへの参加の機会づくり。
町内の人たちが常に参加できる行事の実施、高齢者とのコミュニケーション等（卓球、折り紙教室、カラオケ、吹き矢）
ふれあいサロンの充実

取り組み内容
祭典、施設見学などコミュニティ活動
自治会内を散歩し、住民からの要望等を聞き対応（市役所への要請等）している。
老人、子どもへの挨拶、日常の声かけ
神社祭典で自治会主催のゲーム演芸大会を実施している。
3自治会合同で祭典行事を取り組んでいる。
地区自治会、地区社協、公民館運営委員会の事業や行事に積極的に運営参加し、一人でも多くの住民の参加を呼びかけている。
分からないことを一人で抱え込まないように声をかける。
各種地域イベント
祭りを通しての住民のつながりを要にする。
自治会に各クラブ、団体がありますが輪ができていくが鎖になっている。横に広げる体制づくり。
あいさつ声かけ運動、地区の運動に合わせて実施。
組町会（月1回）を開催し、要望等を聞いている。
「役員忘年会」として区全役員の親と意見交換を兼ねた感謝の集いをしている。
年末年始に行う行事への参加（餅つき大会、元旦祭等）
茶コミの会（お茶を飲みながらコミュニケーションをとる。非会員制フリースタイル）
今年は新規入居者も地元民も同等に接する（心の病の人へも）。
築35年の公民館の建設（耐震等）。地区民の憩いの場所がないため検討中。
自治会施設の点検メンテナンスをしっかりとやり、大切に長持ちさせる。
自治会館内外の定期的な清掃及び整備。
住民の生活全般にかかわる「年度自治会活動の要望書」への対応。

今後、取り組みたいこと

146の自治会から235件の取り組みが出された。総合計画の基本目標により分類すると、「7計画推進のために」が最多の82件、次いで「5やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」53件、「4安全・安心なまちづくり」50件となっている。

総合計画 基本目標別項目	事例数
1 環境にやさしいまちづくり	18件
2 住んで良かったと思えるまちづくり	21件
3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり	10件
4 安全・安心なまちづくり	50件
5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	53件
6 交流と活力のあるまちづくり	1件
7 計画推進のために	82件
総計	235件

今後、取り組みたい具体的な事例

235件の具体的な事例について、総合計画の施策の大綱（体系）に基づき、基本施策ごとに分類し、取りまとめた。

基本目標1 環境にやさしいまちづくり

取り組み内容
桜の植樹とその管理、農地、水、環境向上対策、新豊院山古墳と里山のあり方の取り組みを一体化させること。
自然環境破壊の防止
環境対策等。
地域の環境問題（CO2削減等）一般家庭でできること。
自治会全体で協力し合うこと、ごみ当番、清掃など。
自治会員、アパート居住者のごみ分別の指導（名前、アパート名、部屋番号を確実に記入するよう指導していきたい。）
環境美化
環境美化の推進、海岸清掃の美化
河川美化（堤防草刈り）は高齢者が最近多くなり、危険度が高くもなり、自治会として大変な時期に来ているため、今後の課題である。
海岸清掃（流木、空缶、ゴミ）ができておらず、自治会、行政、ボランティア団体（老人クラブ等含む）一体となって取り組みたい。
自分の地区からゴミのない地区にしたい。
ゴミ集積所の草刈り
現在取り組んでいる活動の充実と拡大（土手の草刈り）
町内見守り隊（美化等総合的に注意を払う活動）
犬の糞
ごみの減量化
ゴミの分別について、まだまだ区民一部に意識が欠けているところもありどうしたらよいか検討中。よいアイデアを教えてください。
ゴミの不法投棄

基本目標2 住んで良かったと思えるまちづくり

取り組み内容
旧於福橋東側の市有地の活用（公園等）
有効的な土地利用を目指したい。そのためには、市街化区域を外してほしい。
道路網の整備
中学生の通学路が遠回りとなっているので、新東名側道に歩道の設置を要請し、中学校への通学を便利にさせたい。
道路の欠損が多く、修復したいと思っている。
特に岩田地区は他地区と比べても子どもたちの不安全箇所等ありますので、引き続き治山とロード、安全柵、排水等の整備をしていきたい。
小学校、中学校、幼稚園等があり、通学路の確保または通学が安全にできる道路の修理等は早急（要望書提出後）にしてほしい。
歩行者の安全通路の確保（枝払い、看板設置、側溝整備）
危険箇所（十字路）の横断歩道の設置
道路の拡幅工事の推進
協働による未舗装道路の舗装化
自治会でできる道路の補修等をいろいろと説明してほしい。
生活の憩いの場としての緑と花の豊かな公園、散歩道
現在取り組んでいる活動の充実と拡大（花壇整備）
現在取り組んでいることの強化（公園草刈り整備）
地区内排水路整備
防犯灯のLED灯の採用 電気料金は自治会負担なので少しでも負担を減らしたい。
住環境の整備（清掃、不法ゴミ、草刈り等の作業）
休耕地&空き地の整備、整理
インターネット、同報、声かけ運動等、コミュニケーションの近代化、活性化。
皆が活動に参加しやすいように具体的な情報の提供。

基本目標3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり

取り組み内容
健康な家庭づくり（朝の体操、散歩、夫婦、家族、近隣、輪を広めるようにする）（あいさつの推進、声掛け）
若い父親母親（子供会通して）の破損遊具、菓子の包装紙の投棄
地域における文化活動の推進
地域文化（お雛子など）の伝承
日本国の文化伝承はいかにあるかを考えて、地域で行動する。
ポルトガル語と日本語の文章を多くする。
外国人中学生の学習支援と進路指導の充実
全員参加の「住みよいまちづくり」を目指したい。

取り組み内容
多文化共生
多文化共生への取り組み、市との連携が必要、まずは人員把握（達成条件、日本人の率先模範）

基本目標 4 安全・安心なまちづくり

取り組み内容
東海沖地震対策（第一避難地の安全な場所の確保）（安全な誘導のマニュアル作成）
災害時の救出救助対象者を早期把握するために各家庭に情報発信カードの配布。
地震対策として防犯マニュアルの作成と活動の徹底実行。
災害時の防災マニュアルづくり
防災（特に地震）に対する型だけでなく実践的な取り組み。市の支援が必要。
防災会を自治会より外し独立させ、防災会組織づくりに力を入れている。
防災の充実。防災クラブを作りこれを自治会が支える。
町内の地震対策、備蓄対策
家庭の防災対策が進むような取り組み。
自主防災体制の充実
大きな災害が（東海地震等）発生した時、外国人と地元の人達が同じ行動を取ることができるよう取り組んでいる。なかなかできないが、頑張っている。
地震などの防災対策や支援体制の強化
防災時における近隣住民との連携の強化（定期的に会合等の開催）
自治会で安否確認のため、統一したものを配布していきたい。
組単位での防災訓練の実施（年2回）
防災については隣近所の助け合いが必要であり1組ごとに会合を開いて様子を話し合っていきたい。
防災備えの訪問点検、自治会委員ミニマムの制定（家具固定、備蓄）
防災意識の向上を更に工夫を凝らし進める。
現在取り組んでいることの継続（災害時の対応）
災害時対策等（要援護者等）
防災への対策、体制の強化
防災意識の高揚（高齢者世帯が増えており現状防災対策組織が軟弱である）
現在取り組んでいる活動の充実と拡大（防災訓練）
災害時の避難地（今は借地）を確保すること
公会堂の広場へ水銀灯の設置（災害時用）
緊急の課題である地震対策のため、建築物の耐震化 家具の固定について市、県が23年度から助成を強化することを、集会の機会に発信していきたい。
最近子どもの犯罪が増えているので学校の登下校時の防犯活動を強化したい。
町内見守り隊（交通安全、防犯に注意を払う活動）
地域の防犯活動

取り組み内容
少子化、高齢化で小さなことですが、朝夕の高齢者の散歩をよく見かけます。時間的に登校時間と重なり、防犯の腕章を付けて子どもの安全に目を配ることもいいことではないかと思っています。
防犯への取り組みを継続して行いたい。
現在取り組んでいることの継続。
青パトの導入。
心地よい地域づくり。
町内空き家が多くなってきているので、その安全対策を考えていきたい。
空きや住宅を考える。(放置状態の家屋点在する。安全上、景観上悪い)
防犯活動(特に子ども達)の安全確保
防犯ボランティアの再組織化
子どもの安全な登下校ができるようにするため、ボランティアを中心にした防犯活動に取り組みたい。
防犯パトロール、災害時の避難場所の確保、防災組織の強化(消防団のOBにより結成する等)専門の人を入れる等
豊田駅周辺の治安の安定(自転車盗難を減らす活動をする。)
安心、安全のまちづくり(防犯、防災)
交通安全、防犯体制の強化活動
防犯委員の増員
防犯への対策、体制の強化
現在取り組んでいることの強化(毎週区内をパトロール)
振り込めさぎなどの情報提供
豊田駅前交番設置に向けた積極的な活動
防犯等の数を増やし、夜を明るくする。
高齢者の交通事故防止
太田川左岸配水ポンプの整備

基本目標5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

取り組み内容
23年度は社協設立を目標として、新役員スタッフを考えている。今月の地区会で(1月)まずテーブルにあげる。更なるコミュニティを拡大するため、夏には地区全体で納涼祭り(盆踊り)を計画している。
高齢化人口社会に対応できる地域システムづくり。
ふれあいサロン立ち上げ。
ボランティア意識の高揚を図り、協働作業の幅を広げ、参加人員を増やせばと思います。
高齢者サロンの担い手ボランティアの育成
高齢化に伴い、草刈り、清掃などのボランティア活動。

取り組み内容
人の役にたった時の喜びを感じさせるようにするボランティア精神を根付けたい。
地区単位での社協活動
福祉活動全般
市へのお願い・・・民生委員さんに手当を出していただきたい。（大変なお仕事です。）
高齢者、障害者福祉に対する支援
更に活動を積極的に取組み地域の発展及び協働のまちづくりをしたい。
いきいきサロン、ひまわりの会の充実
地域の活動を盛り上げるための親子の集いを開きたい。
人口減少社会に対応できる環境づくり
老人クラブの活性化
現在取り組んでいることの継続（高齢者がいきいき暮らせるまちづくり）
高齢者世帯支援への組織体制の確立、充実。
高齢者についても各戸を回り、声かけをしていきたい。
当自治会も高齢化率が17.5%になり、年々高齢化率が進んでいる現状であります。そこで、自分の身の回りのできる「ちょいボラ」運動を進めていきたいと思っています。例えば「ゴミ出し」支援、「買物」支援など。
日常生活に苦勞している高齢者世帯への支援の在り方（隣近所の助け合い）
高齢化対策（一人住まい）
高齢者が現地域で安心して暮らせる生活を
町内高齢者へのより一層の助け合い運動
独居老人を考える。（買物、病院ほか）
ゴミ出し、通院、買物のサービス（高齢者向け）
高齢者の生活支援
要支援、要介護になっていない高齢者のサロンへの参加。
高齢者等の相談及び話相手になること
老人会が今一つ盛り上がっていないようなので、3自治会が一緒になって楽しくできたら良いと考えます。
高齢者対象のサロン活動の推進
高齢者のサロンづくり（絆づくり、見守り対応策として）
高齢者の声かけ運動
独居老人、老人世帯への声かけ活動
在宅高齢者、一人暮らし高齢者の地域行事への参加を増やす。
高齢者立ち寄り談話スポットの試行（サロンなど大きさでなく）
敬老者との会話
高齢化社会におけるコミュニティづくり
老人クラブの充実

取り組み内容
高齢者のグループ活動に参加の呼びかけを進める。
高齢者に関すること
高齢者が安心して生活できる環境づくり
高齢者に対する自治会の対応をどうするか。
老人福祉
高齢者対策
高齢者が安心して住める福祉活動の充実
自治会と民生委員との連携が必須（今は連携がない）、市のご指導をお願いしたい。高齢者対策が重要
60歳（65歳）～75歳までの人材活用
小山、畑等借り上げ、土いじり、食物関係を植え、小さな休息場所の小屋を作り、各々の経験をうずもれさせるのではなく、電気、大工、農作業、刈り込み、何も無いが体だけの人が一堂に集まり作り上げる里山みたいなものを作りたいです。高齢者ほど個人財産があり活かせる場となり、次には地域特産のものができる。
障害者に対する自治会の対応をどうするか。
食農や食育に多くの人を巻き込み、子ども達に広げていきたい。
健康づくりの推進（スポーツ等の参加）
新しい施設や新しい道路づくりより救急病院建設。

基本目標6 交流と活力のあるまちづくり

取り組み内容
地元の遠州大念仏という歴史文化の保存と観光資源としての遠州地方ネットワークの構築を目指したい。

基本目標7 計画推進のために

取り組み内容
協働に関する啓蒙（レクチャー、指導者養成）が不足して計画が立ちません。
人材の確保
人材育成、リーダー後継者の育成
若い人（20～40代）のやる気
自治会及び地区の役が多すぎる。団体、ボランティアをつくった人はその人が終わるまで面倒を見るという責任がほしい。役の仕分けをしたらどうか。自治会連合会でも今年から始めたようです。
リーダーの育成
今期で任期は終わるが、自治会のビジョンも中・長期の計画を立案して役員の交代があっても継続できるような体制を作りたい。
自治会の中心となるリーダーの育成

取り組み内容
今まで各町が一生懸命頑張っても連合会の指導協力が無い。また、行政も自治会活動に関心を高め、住民の為に一緒に努力する方向で考えていただきたい。そのことによって自治会長が「やらされている」感が少なくなってくると思う。
自治会行事についても（草刈りは別）役員が出る程度
まちづくりサポーターの発掘と参加促進
地域住民の意見を上部まで反映させることを次期区長に引き継ぎたい。
自治会員の大勢が納得できる自治会運営の推進
地域組織の充実と各団体への支援
自治会で活動を最も少なくすること
サロン活動の運営について次年度役員で会合を行う予定。
公会堂にパソコンを設置して、誰もがいつでも地区の情報を検索できるようにしたい。
持家住民と借家住民の交流
住人の地域への関心がない人が多くいるので関心を引くこと。
高齢者、子ども、若者、外人関係なく声をかけて、ほめられることはほめ、わからないことは親身になり聞いてやる。繰り返し、繰り返し声をかけてやるよう自治会員にも知らせ、行動できる自治会としたい。
コミュニケーションを高めることを更に工夫を凝らし進める。
自治会会員の出入り移動があり、各組単位の件数減少あり調整を要す。
老人達を自治会活動にもっと参加させる行事を行うこと。
子ども達と高齢者と自治体の語り合える場
近隣自治会との共同イベント（花見会）計画中
住民の親睦を深めたい。
老人と子供の交流会
班内住民との交流の活性化（班内でも接触がない 班長との会合）
アパート住民（外国人も含む）の自治会行事参加増の推進（役員と班長の研修会）
地域コミュニティ事業の推進
地域住民同士の交流、親睦等の強化
住民表（借家の住人が把握できない）
住民同士の更なる信頼関係の構築
現在、行っていることを継続して行っていく（地域住民とのコミュニケーションを図るため積極的に会合を開く）
区の福祉委員とこれから班の福祉委員（追加）と共に細部に入ることにより、よりよいコミュニケーションづくりにする。
自治会員の各行事への参加要請（防災訓練、防犯見回り、ポイ捨て等）
「協働のまちづくり」を自治会員の皆さんに理解していただく（まだまだ行政からの押し付けと感じている人が多い）

取り組み内容
自治会への協力、関心
町内の人達に自治会への関心を持っていただけるようなことを何か企画したいが、案が？
住民から要望等が出るような気さくな態度で接していきたい。
近所の助け合いを行いやすいように組織化したい。
高齢化対応策。高齢者及び独居者に対して自治会活動の参加（体力・経済）の軽減を図りたい。
公会堂のサロン化（高齢者向け）
子どもから成人、老人間のコミュニティづくり
自治会員間の交流【昔 40 世帯 現在 269 世帯（アパート含む）】新旧の交流が少ない。
全ての行事の参加者の 10% 増加をする。
住民は行政に頼りすぎています。困りごとはまず地域で解決できるか検討し、行政への依頼は最後にすべきと考えます。そのほうが、その過程で連帯が生まれてくると思います。
まちづくりに一部の会員だけでなく、多くの参加者の協力を求めるように。
人数の少ないところの協力を行っているが、まだまだ理解できていない家庭が多く、今後のテーマです
コミュニティ再構築のため住民アンケートを行い、現在実施中の事業の見直しや新規事業立ち上げで連帯感の醸成に取り掛かる。
住民同士の協力と融和をつくる。
地域住民の絆が強まる事業の推進
地域のコミュニケーションづくり
婚活に力を入れる。
住民が気軽に意見の出る雰囲気づくり（総会、会合、奉仕作業時等に）
アパート、マンション等の人達が自治会、役員への参加要望
戸数を増やし、賑わいのあるまちづくりができれば。
現在取り組んでいる活動の充実と拡大（イベント）
若者参加のイベント（世代を超えたつながりコミュニケーションの樹立）
地区自治会の活動
声掛け運動
地域の力（助け合いの心）の復活
小中高生参加のイベント実施
自治会活動に積極派と消極派の 2 極分化対策、消極派の参加促進。
若人と接する機会を多くし、ボランティアと物を大切にすること（老人に例外もある。）
古い体質の打破（一部の昔からの人が幅を利かせ新しい人材が育たない。）
地域コミュニティの活動拠点として、子どもから高齢者までが活用できる公会堂の新設
公民館等活動拠点がなく、今後の活動に不安がある。公民館のある所とない所の実態が行政では理解されていないと感じている。
使い勝手のよい公会堂を新築し、その地域にあった福祉活動の展開

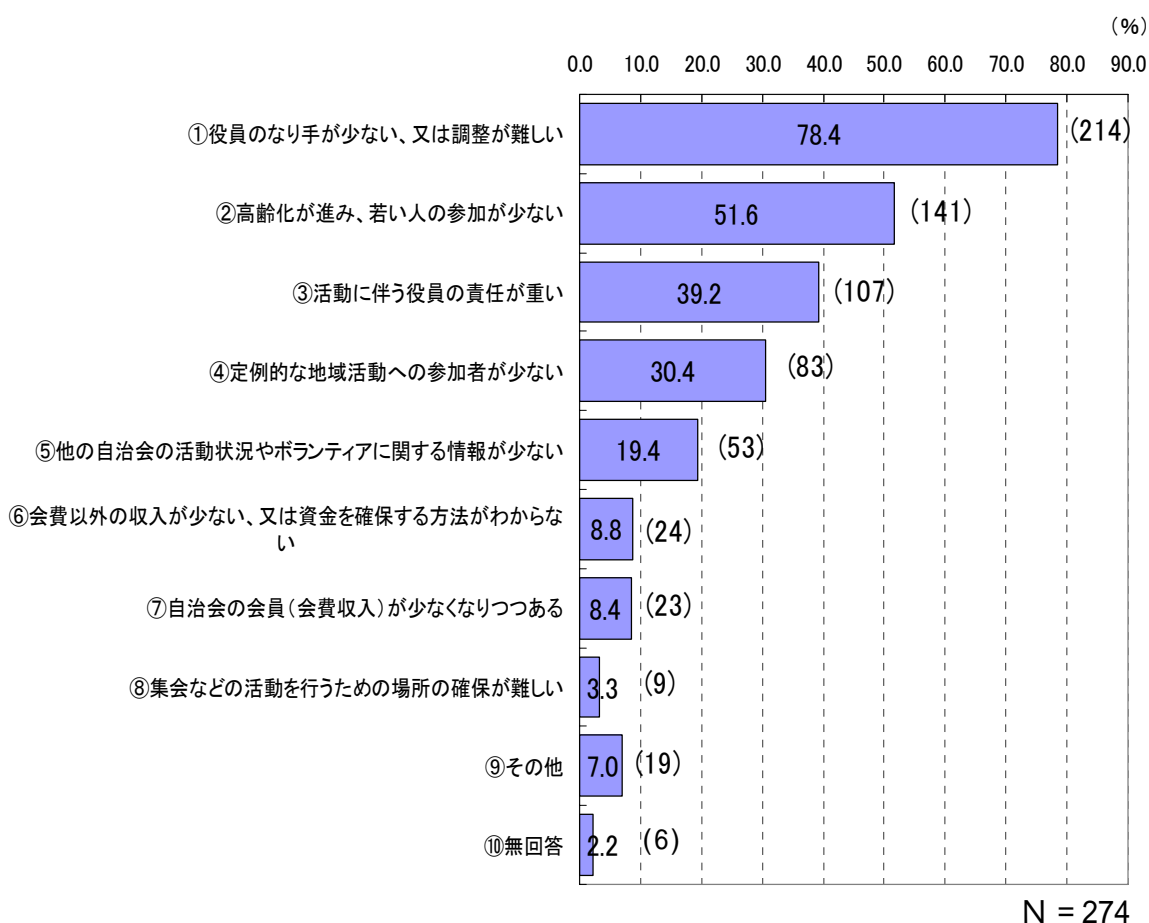
取り組み内容
さくら広場（現グランドゴルフ場）を多目的に利用できるようにしたい。
公会堂の改築（新築）
地区内の公会堂の建築にあたり考えていきたい。
公会堂座敷のテーブル、イス化
公会堂老朽化による新公会堂建築の準備
公会堂の整備
公会堂の娯楽設備の充実
民間人の公的仕事の軽減（地域住民の高齢化のため）
市議員と地区自治会支部間の意見交換する機会が全くないので（市議は自治会長の意見を不要と判断しているのか）場を設定する。
職員の出張時、日当「0」は評価できる。市議は自分達の活動費のコストダウンすべき点をどのように考えているのかな。
渡部市長の考え方はとても好感が持てます。市政のため益々ご活躍期待します。
金のかかるイベント（行事等）見直し
地域負担の経費削減

問 8 自治会活動をする上で問題点などはありますか？（3つまで選択可）

全体

「 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい」が最多で78.4%、次いで「 高齢者が進み、若い人の参加が少ない」が51.6%、「 活動に伴う役員の責任が重い」が39.2%となっている。

（全体集計）



地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい」が、全ての地区で自治会活動をする上での問題点として挙げている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 20 87.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 13 56.5%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 8 34.8%	6 活動に伴う役員の責任が重い 7 30.4%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 3 13.0%
中泉 (基数:21件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 17 81.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 15 71.4%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 6 28.6%	6 活動に伴う役員の責任が重い 5 23.8%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 4 19.0%
今之浦 (基数:6件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 6 100.0%	6 活動に伴う役員の責任が重い 5 83.3%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 4 66.7%	4 自治会の会員(会費収入)が少なくなっている 2 33.3%	
岩田・大藤・向笠 (基数:30件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 18 60.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 16 53.3%	6 活動に伴う役員の責任が重い 12 40.0%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 9 30.0%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 9 その他 4 13.3%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:22件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 19 86.4%	6 活動に伴う役員の責任が重い 12 54.5%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 11 50.0%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 4 18.2%	4 自治会の会員(会費収入)が少なくなっている 4 18.2%
天竜・長野・於保 (基数:25件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 20 80.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 15 60.0%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 13 52.0%	6 活動に伴う役員の責任が重い 8 32.0%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 7 28.0%
福田 (基数:45件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 37 82.2%	6 活動に伴う役員の責任が重い 18 40.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 17 37.8%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 14 31.1%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 13 28.9%
竜洋 (基数:33件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 26 78.8%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 19 57.6%	6 活動に伴う役員の責任が重い 15 45.5%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 11 33.3%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 6 18.2%
豊田 (基数:43件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 33 76.7%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 21 48.8%	6 活動に伴う役員の責任が重い 15 34.9%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 13 30.2%	9 その他 7 16.3%
豊岡 (基数:25件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 18 72.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 14 56.0%	6 活動に伴う役員の責任が重い 10 40.0%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 8 32.0%	5 会費以外の収入が少ない、又は資金を確保する方法がわからない 5 20.0%

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

自治会への加入世帯数の多寡に関わらず、全ての地区が「 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい」について自治会活動をする上での問題点として挙げている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
~25世帯 (基数:12件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 11 91.7%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 8 66.7%	6 活動に伴う役員の責任が重い 5 41.7%	4 自治会の会員(会費収入)が少なくなりつつある 3 25.0%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 2 定例的な地域活動への参加者が少ない 2 16.7%
25~49世帯 (基数:34件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 25 73.5%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 23 67.6%	6 活動に伴う役員の責任が重い 17 50.0%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 4 11.8%	9 その他 4 11.8%
50~99世帯 (基数:54件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 38 70.4%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 24 44.4%	6 活動に伴う役員の責任が重い 16 29.6%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 15 27.8%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 13 24.1%
100~199世帯 (基数:87件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 68 78.2%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 46 52.9%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 34 39.1%	6 活動に伴う役員の責任が重い 32 36.8%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 21 24.1%
200~299世帯 (基数:21件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 15 71.4%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 12 57.1%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 7 33.3%	6 活動に伴う役員の責任が重い 6 28.6%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 4 19.0%
300~399世帯 (基数:30件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 25 83.3%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 16 53.3%	6 活動に伴う役員の責任が重い 13 43.3%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 11 36.7%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 6 20.0%
400~499世帯 (基数:9件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 9 100.0%	6 活動に伴う役員の責任が重い 5 55.6%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 2 22.2%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 2 22.2%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 2 22.2%
500世帯~ (基数:26件)	1 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい 23 88.5%	6 活動に伴う役員の責任が重い 13 50.0%	3 高齢者が進み、若い人の参加が少ない 10 38.5%	2 定例的な地域活動への参加者が少ない 8 30.8%	8 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない 4 15.4%

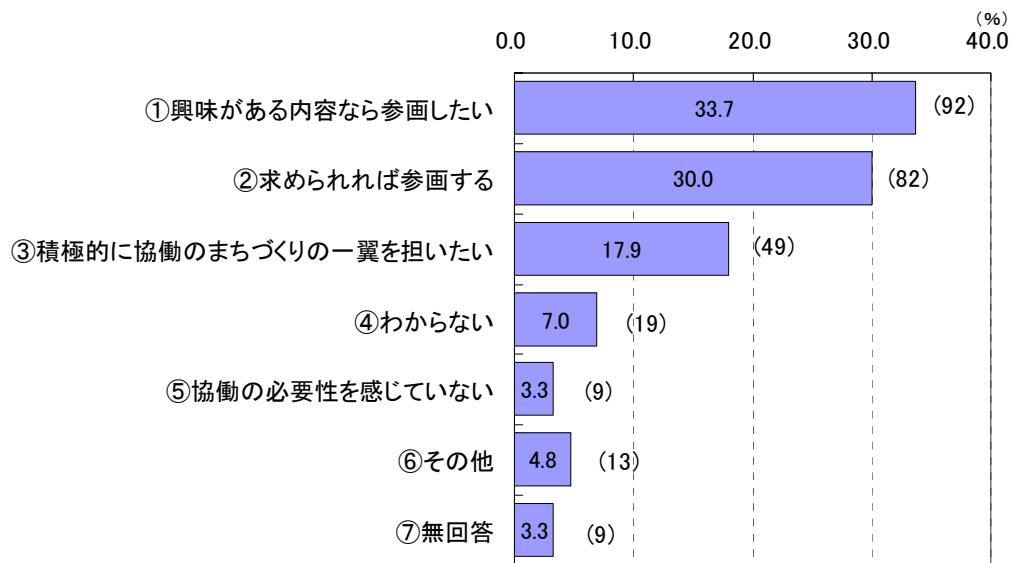
問 9

貴自治会では、今後、市民・行政の協働のまちづくりへの関わり方についてどうお考えですか。

全体

「興味がある内容なら参画したい」が最多で 33.7%、次いで「求められれば参画する」が 30.0%、「積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい」が 17.9%となっている。

(全体集計)



N = 274

地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「興味がある内容なら参画したい（見付、中泉、今之浦、岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原、豊田）」が最多で6地区、次いで「求められれば参画する（天竜・長野・於保、福田、竜洋、豊岡）」が4地区となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	3興味がある内容なら参画したい 7 30.4%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 6 26.1%	2求められれば参画する 4 17.4%	6その他 2 8.7%	
中泉 (基数:21件)	3興味がある内容なら参画したい 11 52.4%	2求められれば参画する 7 33.3%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 2 9.5%		
今之浦 (基数:6件)	3興味がある内容なら参画したい 3 50.0%				
岩田・大藤・向笠 (基数:30件)	3興味がある内容なら参画したい 12 40.0%	2求められれば参画する 8 26.7%	6その他 4 13.3%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 3 10.0%	
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:22件)	3興味がある内容なら参画したい 10 45.5%	2求められれば参画する 5 22.7%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 4 18.2%		
天竜・長野・於保 (基数:25件)	2求められれば参画する 9 36.0%	3興味がある内容なら参画したい 7 28.0%	5わからない 3 12.0%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 2 8.0%	4協働の必要性を感じていない 2 8.0%
福田 (基数:45件)	2求められれば参画する 16 35.6%	3興味がある内容なら参画したい 15 33.3%	5わからない 5 11.1%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 5 11.1%	6その他 2 4.4%
竜洋 (基数:33件)	2求められれば参画する 15 45.5%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 9 27.3%	3興味がある内容なら参画したい 6 18.2%	5わからない 3 9.1%	
豊田 (基数:43件)	3興味がある内容なら参画したい 15 34.9%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 11 25.6%	2求められれば参画する 9 20.9%	5わからない 3 7.0%	4協働の必要性を感じていない 3 7.0%
豊岡 (基数:25件)	2求められれば参画する 8 32.0%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 7 28.0%	3興味がある内容なら参画したい 6 24.0%	6その他 2 8.0%	

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

399世帯以下の加入世帯数である自治会は、「興味がある内容なら参画したい」を、25～49世帯及び300～399世帯の加入世帯数である自治会は、「求められれば参画する」を、400世帯以上の加入世帯数である自治会は、「積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい」を協働のまちづくりの関わり方として考えている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
～25世帯 (基数:12件)	3興味がある内容なら参画したい 6 50.0%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 3 25.0%			
25～49世帯 (基数:34件)	3興味がある内容なら参画したい 11 32.4%	2求められれば参画する 11 32.4%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 4 11.8%	6その他 3 8.8%	5わからない 3 8.8%
50～99世帯 (基数:54件)	3興味がある内容なら参画したい 18 33.3%	2求められれば参画する 16 29.6%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 8 14.8%	5わからない 5 9.3%	6その他 3 5.6%
100～199世帯 (基数:87件)	3興味がある内容なら参画したい 31 35.6%	2求められれば参画する 28 32.2%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 13 14.9%	5わからない 5 5.7%	6その他 4 4.6%
200～299世帯 (基数:21件)	3興味がある内容なら参画したい 6 28.6%	2求められれば参画する 5 23.8%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 5 23.8%	5わからない 3 14.3%	
300～399世帯 (基数:30件)	3興味がある内容なら参画したい 12 40.0%	2求められれば参画する 12 40.0%	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 4 13.3%	4協働の必要性を感じていない 2 6.7%	
400～499世帯 (基数:9件)	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 3 33.3%	3興味がある内容なら参画したい 2 22.2%	2求められれば参画する 2 22.2%		
500世帯～ (基数:26件)	1積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい 9 34.6%	2求められれば参画する 7 26.9%	3興味がある内容なら参画したい 6 23.1%		

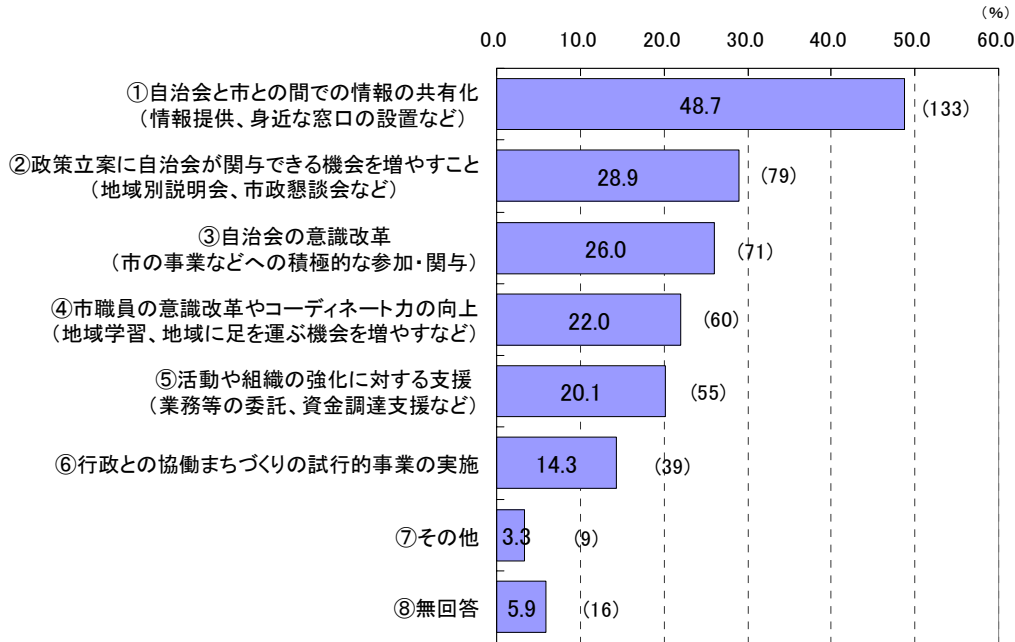
問 10

自治会と行政の協働のまちづくりを進める上でどのようなことが重要だと思いますか？（2つまで選択可）

全体

「自治会と市との間での情報の共有化（情報提供、身近な窓口の設置など）」が最多で48.7%、次いで「政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと（地域別説明会、市政懇談会など）」が28.9%、「自治会の意識改革（市の事業などへの積極的な参加・関与）」が26.0%となっている。

（全体集計）



N = 274

地区別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

「自治会と市との間での情報の共有化（見付、今之浦、岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原、天竜・長野・於保、竜洋、豊田、豊岡）」が最多で8地区、次いで「政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと（中泉・西貝・御厨・南御厨・田原）」及び「自治会の意識改革（今之浦、福田）」が2地区となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:23件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 14 60.9%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 8 34.8%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 4 17.4%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 4 17.4%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 3 13.0%
中泉 (基数:21件)	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 9 42.9%	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 8 38.1%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 7 33.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 4 19.0%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 4 19.0%
今之浦 (基数:6件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 2 33.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 2 33.3%			
岩田・大藤・向笠 (基数:30件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 19 63.3%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 9 30.0%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 8 26.7%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 7 23.3%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 6 20.0%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:22件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 8 36.4%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 8 36.4%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 8 36.4%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 6 27.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 5 22.7%
天竜・長野・於保 (基数:25件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 13 52.0%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 8 32.0%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 6 24.0%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 5 20.0%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 5 20.0%
福田 (基数:45件)	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 18 40.0%	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 17 37.8%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 13 28.9%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 10 22.2%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 6 13.3%
竜洋 (基数:33件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 14 42.4%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 11 33.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 9 27.3%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 8 24.2%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 7 21.2%
豊田 (基数:43件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 22 51.2%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 11 25.6%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 11 25.6%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 10 23.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 8 18.6%
豊岡 (基数:25件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 16 64.0%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 7 28.0%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 7 28.0%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 7 28.0%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 7 その他 2 8.0%

加入世帯数別（上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除きます）

25世帯以上の加入世帯数である自治会は、「自治会と用途の間での情報の共有化」を、25世帯未満及び200～299世帯の加入世帯数である自治会は、「政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと」を協働のまちづくりで重要であると考えている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
～25世帯 (基数:12件)	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 6 50.0%	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 4 33.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 3 25.0%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 2 16.7%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 2 16.7%
25～49世帯 (基数:34件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 16 47.1%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 10 29.4%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 9 26.5%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 8 23.5%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 6 17.6%
50～99世帯 (基数:54件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 24 44.4%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 15 27.8%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 14 25.9%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 13 24.1%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 10 18.5%
100～199世帯 (基数:87件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 48 55.2%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 28 32.2%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 22 25.3%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 19 21.8%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 14 16.1%
200～299世帯 (基数:21件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 7 33.3%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 7 33.3%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 6 28.6%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 6 28.6%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 3 14.3%
300～399世帯 (基数:30件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 16 53.3%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 11 36.7%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 9 30.0%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 8 26.7%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 7 23.3%
400～499世帯 (基数:9件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 5 55.6%	2 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと(地域別説明会、市政懇談会など) 2 22.2%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 2 22.2%		
500世帯～ (基数:26件)	1 自治会と市との間での情報の共有化(情報提供、身近な窓口の設置など) 13 50.0%	3 活動や組織の強化に対する支援(業務等の委託、資金調達支援など) 9 34.6%	6 自治会の意識改革(市の事業などへの積極的な参加・関与) 7 26.9%	5 市職員の意識改革やコーディネート力の向上(地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど) 6 23.1%	4 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施 6 23.1%

(5) まちづくり全般について

問 11

これからの磐田市のまちづくりのためのご意見やご提案（アイデア）、夢など、どんなことでも結構ですので、自治会長としてのご意見をお聞かせください。（自由記述）

これからの磐田市のまちづくりのために、各自治会から 226 件の意見が提出された。これらの意見を下表に掲載した。

まちづくりへの意見	
ポイ捨てゴミのない美しい町	
ゴミの分別法をもう少し簡単にしてほしい。	
ごみの分別、一般的に磐田市は厳しすぎる。外からの住人はここまでやってこないことなので説明が難しい。世間並みにしてほしい。どこに聞いてもここまでするところはないと思います。つまようじ 1 本でも残されてしまうのはどうか。	
市街化調整区域なので、住宅の増加、あるいは人口の増加が望めなく、子どもの減少で学校が統合になることが今一番の心配することです。そういうことにならないように土地の整理事業を行なってほしいと思います。	
都市計画また林業（山林）にも目を注いでください。	
駅前のビルと西の商店の整備	
玄関口である磐田駅北口を活気のある街並みにしてほしい。	
合併後の市全域を見直し、メリハリのあり都市計画を進めるべき。産業地域、商業地域、住宅地域、その他基本的な色分けが重要と思う。特に磐田駅周辺の商業地域としての整備は急務だと思う。	
磐田市北側の街並みの活性化（イベント等を行い、人並みの増加等）	
磐田農高を北方へ移転。跡地に緑豊かな公園中心に行政施設（市役所や図書館、美術館、イベント会場等）を建設する。磐田市中心地に政治拠点を置くことによってドーナツ化減少で市が発展すると思います。	
市中心部において空き市有地が目立つため、空き地の再利用（売却を含めて）を行ってほしい。将来の地域防災、防犯活動に利用できればよい。	
これからの必要な交通網の整備、駐車場の整備、合わせて鎌田新駅の利用者を増やすことを目的とする。	
物、人の南北交流を促進するために、北は第二東名、南は 150 号バイパスを結ぶ南北自動車専用道路の建設計画を長期展望に立って立案すべきと考える。10 年、30 年、50 年後の姿を描いて取り組んでほしい。	
道路の舗装が悪い箇所は改装を望む。	
天平のまちの歩道をつくり直す。ジュビロロードの道路の設計は「人を拒絶」している。	
小路から本通りに出るところに交通事故がよくあり、小路から出て来る車、本通を通る自転車にも気付かせる（止まれの注意を）地面に書いたらどうか。	
幹線道路の自動車道と歩道との分離	

まちづくりへの意見
新しいものをつくるのではなく、現状のもの対策をしてもらおう。特に新しい道路は要らない。現状の道路の整備を優先すべき。
今之浦市有地に、くすの木、杉の木、いちょうの木などを植えて、500年後の磐田市の住民に木陰で休んでもらいたい。森をつくるのではなく、1本、2本の木を末永く育てたい。
J R 磐田駅北口に大木を中心とした公園のある駅前。
自治会単位の憩いの場（公園）の設置
駅南に幼児の遊べる公園がほしい。
家族で遊べる広場を設置して欲しい。
美しいまちづくりに際し、維持、管理を考えてほしい。せっかくの植栽が伸び放題。ごみの吹き溜まりになっているのでは無意味。維持、管理費も多大になるため、よほど考えて手間費用の掛からないような手法を望む。
荒地が目立つ農地の有効活用の促進、整備（住宅、店舗、施設、向上等への誘致など）
緑のない市街化にするのか、緑の多い街にするのか、わからない。市長の考え方に委ねたい（環境の面だけです）。
防災、防犯等の安全に生活できる環境整備を求めたい。
アパートの乱立もよくないと思います。
生活環境、街灯設置など、磐田市というトータル的に考え、色、模様など統一していく。
きれいなまちづくりを目指し、厳し目の条例を整備し、住民を引っ張ってほしい。
交通システムの向上。エコを目指し、市内であればマイカーを使用しなくても、どこでも出かけることができるシステムができないでしょうか。例えば、現状の路線バスの乗り継ぎ待ち時間が短時間で出来るとか。
少子高齢化が大きな問題。昔はご近所が助け合ってやってきたが、現在は個人のプライバシーが強調されすぎ各家の壁が厚く、こういった援助を必要としているのか、こういった手助けをして貰えるのか分からない。情報化社会を生かした新しいご近所相互援助みたいなものがないか。“遠くの親戚より近くの他人”は今も通用すると思うが。
「個人情報保護法」に伴って困っているので自治会員データの提供（自治会長のみ）をお願いしたい。
光の来ない豊岡地区に光を（ネット通信インフラ）。各種、各団体の文書規格の統一を。A4横書き左とじなどの徹底を（市の広報も失格-JIS規格アウト）。
各自治会にパソコンを設置してほしい。インターネットを含むネットの通信料は自治会の負担でよい。
市からの回覧が月2回のため、回覧が一度に多いため住民は見落とすこともある。
配布物のペーパーレス化、ケーブルTV化、ネット配信の充実と各家庭でプリンター等設置の補助金給付
公平な市民サービスを望みます。これからの次代を担う子どもたちの教育に力を入れてほしい。そのためには高齢者には我慢して貰ってよいから若年層に金を使うと良い。

まちづくりへの意見
地域の活性化のために、子どもの教育を重視したい。笑顔いっぱい、笑い声いっぱい、やる気いっぱい、の磐田市にしたい。官民一体となって、老若男女を問わず、より良く生きる知恵を發揮し、他に代えられない生きる喜びを味わえるような磐田市を築きたい。そう、主役は市民だ。
中高生、若者を多くの先進地域や優秀行事の視察、研修に参加させるように更に進めてほしい。
少子高齢化が進み、段々元気がなくなってきているようです。若い人達をもっと活躍できる場をつくりたい。
磐田市は文化財の宝庫です。最近その素晴らしさが注視されていません。未来へ引継ぎ残すためにもっと整備事業に力を入れてほしい。
一度なくした文化財にこだわってはいは駄目(時間と労力)。今ある文化財の再必要を検討(観光的また地域の活用)
税収の増大は見込めない、ならば他所から。幸い当市は歴史的遺産及びスポーツ施設がある。他所からのお客様を気持ちよくお迎えしてお金を使っていただきたい。そのためには、7、10、12、18、19、37の項目が総合して重要。例えば、見付の町、ウォーキングの人はたくさんみえるが、何も買わない。なぜか。安くて旨い昼食を提供する店。一服、一休みしてコーヒーや甘いものをとる所、手頃な価格の土産等、地元に住んでいても全く思いつかない蔵を活用した店や、地産の手頃なもの等の開発を、そして近隣の市町村、県全体にアピールする。地元が潤ってくれば市も人も活気づく。
磐田市の強み、七重の塔を有した国分寺(国の特別史跡)を柱(中心)にしたまちづくりを考えてほしい。
ジュピロ磐田にだけ依存してはいは駄目。強い時だけ力を入れない。いつも同じ気持ちで付き合いすること。
アマチュアスポーツのメッカ、豊岡総合センターを潰すな。
市内一周等のサイクリングロード(天竜川河川敷の自転車道の利用)の整備
常設グランドゴルフ場をつくってほしい。磐田市市長杯等を立ち上げる(一試合400~500人)集まる。
外国人世帯が去年に比べ、また増加しつつある。多文化共生と謳っている割には行政のサポートは弱いように感じる。あと2、3年後には特定の団地はブラジル人が過半数以上占めると思われる。いろいろな面において、自治会では収集が聞かなくなる恐れがある。外国人の増加に意識を向けてもらい、今以上にサポートしていただきたい。
日本人とブラジル人との多文化共生を進めていきたいです。
災害に対して十分な対策を準備し即対応できるよう希望する。
災害時の食料確保のために、スーパー等との協定を願いたい(代わるべき対応策があれば不要)。
東海地震対策、ゲリラ豪雨対策等、予期できる自然災害に対しての対策を強化していただきたいとします。他自治体での大被害の状況をTV等で見ると不安を感じます。
東海沖地震が発生すれば、間違いなく磐田市でも海岸地区は水没するでしょう。どんな立派なまちづくりに成功しても、津波で一気にパー。海の藻屑となるでしょう。政策のトップバッターは遠州灘の防波堤の強化であると思います。それからゆっくりまちづくりをすればよい。

まちづくりへの意見
通学路の安全、防犯対策として所々にベンチを設置し、一般の人がベンチに腰掛けているだけで防犯対策とならないか。
地域に犯罪がないよう、防犯体制の充実がもっと必要（防犯カメラの設定等）。
防犯体制強化のためＪＲ豊田町駅前に交番の設置を望む。
防犯等設置の補助金について、季節の防犯等の維持費（劣化した防犯等の取替え）も補助金の対象としてほしい。現状のままでは効果の小さい新設が拡大されるだけとなる。
最近、不審者が減少してきていると思います（見付地区）。これは各自治会でも自主防犯活動の成果だと思っています。しかし、この自主防犯パトロールの隙間を縫って不審者は出没しています。そこで難しい面はあると思いますが、主要な場所への「防犯カメラ」の設置が必要ではないでしょうか。
防犯、安全推進活動のための用具の提供、経費の補助がほしい。
子ども達が子どもだけで外で遊べるような安心、安全な環境づくり
生活保護を受ける人、振り込め詐欺に引っかかる人も、もう少し各自が努力、警戒する必要がある。行政側から市民に向かって市民が悪いと言えないが、我々でその分を行って環境を作る必要あり。勿論、行政も悪いかも、また犯人が悪いのは百も承知だが、今現在何事も政治行政が悪いと片付ける傾向あり。1961年ケネディー就任演説でのその一部「諸君が国の為に何が出来るかを問いたまえ」のように、市民も自分の努力を棚に挙げ、政治が悪い、市が悪いで、他人のせいにしすぎている。
22/6 民生委員の選出に大変難儀しました。市として自治会に任せるのではなく、国勢調査員と同様に公募して、その費用を市から出す方法など発想の転換が必要と感じました。3年任期は長く、善意のある人を助けるべき。（業務に対する個人への給付金を増額し労働対価とする）。
住みよいまちづくり、住環境の更なる向上には、地域それぞれに多くのボランティアが必要です。市民一人ひとりが生活しながら、こうした面に向けていくには、そうした環境整備が必要なのでは。私自身役員としては今年度で退任しますが、今後もできる範囲で協力していきたいと考えています。
地元の自治会活動、公民館活動や市役所との連絡で多忙のため、現役を引退した団塊の世代等を有効に活用するよう、現行の事業を更にPRして協力してもらおう（ボランティアとして）。
豊岡地区の交通指導隊、奉仕精神には敬服するが、他地区並みの無報酬ボランティアと足並みを揃える範囲に改定すべき。自発的に出勤は必ずしも否めないが、全員ではなく有志中の有志だけに留め、制度設計と整合させてほしい。もしくは豊岡地区独自に出勤手当を出すべく。
地域の都会化が進み、人と人とのつながりがなくなっている。高齢者、障害者、子どもなど弱い立場にある人たちを地域で支えていく必要があります。福祉活動を積極的に取り組んでいただきたい。
子どもたちの遊び場がない状況（自分達が小中学生の頃は運動場に行き暗くなるまで遊んでいました）。学校の運動場の開放を望みます。自治体として何がネックなのかを話し合う準備はあります。
保育園の民営化をもっと積極的に行うべきと思います。

まちづくりへの意見
少子化で過疎の町が多くなっていくと思われる。子育て環境の整備、結婚相談の充実など出生率向上対策が必要。
無駄を省いて、子育て支援、教育に力を入れて欲しい。古い日本の家族形態のほうが子どもの教育に良い結果が出ている(良い例:福井県)核家族のアメリカ的家族形態から少しでも昔に戻れるよう啓発していただきたい。老人、子どもと一緒に暮らせることがどちらも幸せになれるのでは。
年々高齢者が増えていますが、介護の必要のない、元気で健康な笑顔の人になり続けてもらうための策や仕掛けがほしい。各人が持っているスキル(気がついていない人には発見プログラムで発見させ)をもっと伸ばす試行 更にはまちづくりサポーター制度 or 役所 課の助手とか。楽しみながらできる範囲で生きがい感をくすぐる手法の構築がほしい。
優秀な人材は多数居ますが、男性は特に長年会社人間に育っているためか家に引きこもりがちであり、個人の蓄積された財産を活用できない人も、楽しく健康になって行く体制づくりを作りたいと思います。里山づくりと別に、建築、農作業、土木、電気、植林、電気、設計、大工、果木、それらの案内のOA、写真の取り込み、しいては特産物もできかも。そうすると、女性群も活用でき、年齢関係なくおばあちゃんの知恵袋もあるかも。山から頂き、畑から頂き、それには種々の会社人間でなく趣味も加わり、人間関係も深まり何も無いと思っている人も参加できる理想郷が出来ると思いやってみたいです。
日本一の健康長寿市を目指して、ソフト面で高齢者への啓発を、Nonひきこもり、食事、栄養、趣味、生きがい etc...より多くの機会をつくり指導してほしい。
高齢者が多くなることは確実です。車に乗れない一人暮らしの方の買い物ができる店が年々少なくなってしまい困っています。早期に解決するように自治会と行政が一体となって考えたい。
高齢化が進んでいるため、老人などが明るく安全、安心に生活できることがベターである(施設の増加など)。
高齢者世帯が増える傾向であるので、自治会、民生委員、福祉委員等で連携を密に取る必要がある。
高齢者にとって住みよいまちづくり
地域の活性化のために、高齢者福祉を重視したい。官民一体となって、老若男女を問わず、より良く生きる知恵を発揮し、他に代えられない生きる喜びを味わえるような磐田市を築きたい。
当自治会でも一人暮らしの高齢者が毎年増加している。民生委員と福祉委員、保健委員間で連絡を取り合い、民生委員の業務負担を軽くすべきである。現状では、後任者がなくなる場合もある。選任を自治会に依頼する慣例も是正すべきであり、自治会としても活動の費用負担も考えるべきである。
老後に安心して生活できる環境を整備してほしい(施設、病院等)。
高齢者、高齢者と言うが、高齢者だからといって甘えもあると思われます。若者が汗を流しているのにゲートボールだ、旅行だと金があるかもしれないが、元気で健康なうちは社会に奉仕していくのが人生で、構えて社会に向くのではなく、知恵あるものは知恵を出し、力あるものは力を出し、技術のある者は技術を出し、何もできない者は微笑むことで社会に奉仕することが人生と私は親に教わっている。力むことなくつつと。
町内一斉草刈りの件ですが、今雇用問題があります。自治会への補助金が出ていますが、その補助金で人材シルバーセンター等に仕事を出してあげたらどうでしょうか。

まちづくりへの意見
<p>新しく磐田市になったことであるが、まだ固定的なものの考え方が多く見られると思う。地域でも掘り出し物がたくさんあると思う。それには高齢者の働き場所を作ることによってアイデアをたくさん持っていることと思うので、まちづくり参加しやすい場所を作ることによって、ポケ防止、病気にかかりにくいと思うので、型にはめない方法を考えていったら良いのではないかと。</p>
<p>老人医療費の増大の傾向にあります。自治会の役として保健員を増員して健康管理を啓蒙すべきところ、市は地区ごとに保健員がいれば良いとの判断で人数を減らす方向と聞きました。保健委員を増員、健康教育を積極的にトライしてほしいです。</p>
<p>竜洋地区に市民病院の建設をお願いします。</p>
<p>街の中では高齢化が進み買い物にも大変苦労が予想されます。今軽トラ青空市が広がりつつ、磐田市もやるようですが、駐車場をきちんと確保してもらわないと近くの住民だけに終わってしまう。年寄りが大根、白菜を購入した場合、運搬するのは本人ですか。</p>
<p>メインストリートに賑わいを。</p>
<p>大型店が増えています。商店等のシャッターが下りているところが多くなっています。地域の店をできるだけ活用するよう、活性化のための取り組みが重要と思います。計画的なイベント等を企画していくと良いと思われれます。</p>
<p>150号線沿線の何処かにレストランを兼ねた道の駅的なものを設けてほしい。</p>
<p>ジュピロ等の改革、商工会の活動が目に見えない。本当に存在しているのか、行政との連携プレーが必要と思っていた。例として農家の2級品の販売場所をつくる、町の中に（駐車場確保）。個人事業者の後押し</p>
<p>ジュピロが勝ったら全市10%offを実施したらどうか。</p>
<p>老若男女が憩える場所（地域）づくり。特に若者が集まってくるようなまちづくりを考える。</p>
<p>磐田としての目玉が必要です。例えば、サッカーの街</p>
<p>福田港をもっと活用すべきだと思います。</p>
<p>磐田出身の活躍している芸能人に磐田市の良さを全国に向けてアピールしてもらおう。</p>
<p>磐田市の観光、交流の振興を拡大したらよい。PR、啓発をうまくやって全国区になれるようにしたい（かつてのジュピロのように）。史跡、名勝地等を散歩コース、車コース、また、それぞれをジャンル別とか方法はいくらかでもあり、少なくともマスコミ扱いされるようなイベントも工夫されたい。最近、隣の森町、掛川市はNHKテレビで放映されている。</p>
<p>日本一の気候と景観に恵まれた静岡になって、もっと全国にアピールし、観光事業を推進できたらと感じます。</p>
<p>市では緑化運動を進めているようですが、学校や公共施設に静岡県のみかん、お茶、その他の果実を植えて特産をアピールし味わいながら、子ども達が学ぶためにも街路樹の剪定作業も経費減少になる。“花を楽しみ果実を味わい育てる喜び運動を起こそう”</p>
<p>遠州地区は10月に入ると隔週ごとに祭りがあり、三社囃子の音色は他の地方にはない郷愁を誘うものがある。この1ヶ月間を祭り月間として宣伝していったらどうか。</p>

まちづくりへの意見
<p>磐田市は人口の割りに PR するものがない。ジュピロくらい。磐田市には海あり山あり池あり、また国分寺跡地等の史跡もあります。これらを一体的に整備して観光都市磐田として市の活性化を図るとともに、外からもお客さんを招くことができたらと思う。年は要すると思いますがどうでしょうか。</p>
<p>磐田市の観光、交流の振興を拡大したらよい。PR、啓発をうまくやって全国区になれるようにしたい(かつてのジュピロのように)。史跡、名勝地等を散歩コース、車コース、また、それぞれをジャンル別とか方法はいくらかでもあり、少なくともマスコミ扱いされるようなイベントも工夫されたい。最近、隣の森町、掛川市はNHKテレビで放映されている。</p>
<p>市では緑化運動を進めているようですが、学校や公共施設に静岡県のみかん、お茶、その他の果実を植えて特産をアピールし味わいながら、子ども達が学ぶためにも街路樹の剪定作業も経費減少になる。“花を楽しみ果実を味わい育てる喜び運動を起こそう”</p>
<p>遠州地区は10月に入ると隔週ごとに祭りがあり、三社囃子の音色は他の地方にはない郷愁を誘うものがある。この1ヶ月間を祭り月間として宣伝していったらどうか。</p>
<p>磐田市は人口の割りに PR するものがない。ジュピロくらい。磐田市には海あり山あり池あり、また国分寺跡地等の史跡もあります。これらを一体的に整備して観光都市磐田として市の活性化を図るとともに、外からもお客さんを招くことができたらと思う。年は要すると思いますがどうでしょうか。</p>
<p>七重の塔跡の礎石を「世界遺産」として登録する。国分祭りとジュピロ夏祭りをドッキングで盛り上げを。</p>
<p>磐田市に観光で来る人のために、観光地への道路に公衆便所の設置、ジュピロスタジアムに観戦に来る人達への気配りが必要ではないでしょうか。</p>
<p>全国的に知られる特徴のある市をつくる。スポーツの盛んな市。サッカー、卓球、陸上等を利用。市民レベルのイベントを多くして活気ある市とする。</p>
<p>サッカーのまちを中心に消費人口の増大を図る。ジュピロスタジアムを中心にイベント、観劇、ショッピング等の施設の充実。</p>
<p>磐田駅前にジュピロ球場をつくり、駅から陸橋を渡り球場に入場可能とし、地下に駐車場を設け、1Fスタンド下に各種屋台を設置し、ジュピロ球場で試合がない時でも地場産品市を開き、駅前地区の活性化を図るようにしたらと夢を描いています。</p>
<p>竜洋には、海洋公園という素晴らしい場所があるので、観光キャッチフレーズを公募(モニュメントも必要かも)(例えば、恋人岬のような風がOK)市外、県外から観光客を呼べるようにしたい。</p>
<p>収入が増え、出費が少なくて住むまち</p>
<p>皆が動いて(特に若者)活気のある街に。若者が就労できない街、市では何をやっても元気のある街にならない。労働のシェアリングを市が先にやるべきだ。</p>
<p>建築業界の衰退。住宅着工の減少。-給料が安いから。</p>
<p>雇用対策の充実</p>
<p>一般レベルでの意識が持ち上がっていないので、モデル提示が必要ではないかと思う。</p>

まちづくりへの意見
<p>若者の職がなく、福祉・介護等はこれから増加の傾向にある。若者が簡単に福祉＝働き場所と結びつくような方策。民生委員のようにボランティアには限度がある。引き受けてくれる人すら少ない。また、市とのパイプ役にしかすぎない。そのようなところを簡単に提供できるシステム等、市での補助で（財政は厳しい中ではあるが）働く、生きがい、給料、助けるを充実させてほしい。</p>
<p>職員または組織として協働の意識がしっかり浸透しているか疑問です。従前のままのいわゆる「お役所仕事」が多すぎる。</p>
<p>協働のまちづくりを、磐田市全自治会へアピールを積極的に行ってください。</p>
<p>単位自治会長が市政に意見を言う機会が全然ない（地区自治会でも同様）。地区の行事に参加するのが精一杯。何でもかんでも自治会、任期に2ヶ年というが、とんでもない。</p>
<p>地域企業の振興に市と市民が協力する体制づくり</p>
<p>年々身近に感じられる行政、行政の知力の下、今後も連携し合い、より良いまちづくりのため協力したいと思っています。</p>
<p>全ての自治会の行事等に行政との関わりを持つようにしてほしい。</p>
<p>自治会と市政との話し合いの場を増やす。自治会と市との地域活動の協力化</p>
<p>自治会主催の行事には市の職員も積極的に参加してほしい（公務全般、国、県の職員も）</p>
<p>新規事業を行政として行なう時、説明会と検討会を確実にに行い、風通しをよくする（聞かなかった、知らなかった、の解消）。</p>
<p>自治会長が現役だった場合、その企業に自治会長を優遇させたり、優遇できるような行政側の働きかけがほしい。これからは必要不可欠になってくる。</p>
<p>順番性で選ばれた自治会長には、時間的な余裕や力もないのが現状です。</p>
<p>毎月地区会合がありますが、本当に貴重な時間をもっと有効に使ってほしい。例えば、防犯活動、ごみ拾いなど市への数値報告にとらわれ、もっと町内だけで活動できる方向がある。優秀な人材、リーダーが不在である。</p>
<p>今の自治会長の任期は私共の自治会は1年です。各町内様々ですが、市と自治会との情報の共有化、協働の参画には数年継続し、内容の把握が必要だと思います。今の任期では一年後に次の自治会長に引継ぎを行ってしまうので、内容があまり理解できないまま終わってしまうので、ある程度継続できる自治会長の選任が必要だと思います。また、自分を含め会社員、サラリーマンではスケジュールが多いので、地元で働ける方が複数年務める方向が良いと思います。また、自治会への補助金もある意味必要だと思います。</p>
<p>自治会の役員も若い人にどしどしやっていってほしい。</p>
<p>自治会連合会が各町自治会の意見を聞いたこともなく、指導もなく、各自治会長は行政に不満だらけである。連合会長は威張っているだけで、我々自治会長の話を聞こうとしない。このままだと益々自治会長を引き受けてくださる人が居なくなり、自治会長に誇りを感じなくなる。連合会長が3期目をやるつもりらしいが、それでは改革が進まない。磐田の自治会のマイナスが益々進行する。自分の名誉だけを考える連合会長でなく、305町の自治会長をどんどん起用することを市長より指示して市長らしい自治会活動を奨励してほしい。</p>
<p>世帯数が少ない中での自治会役員への負荷が多すぎる。自治会長が勤め人の場合は特に問題がある。</p>

まちづくりへの意見
年々自治会長の職務が多くなり(ポストの兼任あり)、会社員が自治会長を務めるのは大変になっており、職務を受けられる人材の不足を感じる。
70歳以上の方が役員を辞め、50歳以下の意見を聞くこと。
安心して出産ができ、待機児童がなく、誰もが明るく暮らし、運動、学習機会があらゆる世代に提供される。そんな市にしてほしい。それを実現するために市内には優秀なあらゆる方面のリーダーがいる。リタイヤされたその方々を活用するのも一考である。
地域においても行政においても大切なのは人材です。人や自然を含めた全体の環境が子どもを育てる上で、大きな問題に直面しているということを理解し、それぞれ一人一人が何かを始める時だと考えます。
提案・・・単位自治会長の任期3年としては、または2年。問10のことを考えると、1年では時間が少ない。現の活動でも思います。
自治会長を引き受けて9ヶ月、実態的活動として多種多様な業務(特に雑務)が多く、夢を語る余裕は未だありません。自治会活動に於いては、各専門員(防災会長、青少年健全育成委員、防犯委員)の任期を長期化するために委員の教育(継続的ステップUP)を行政で行うべきと考えます。
自治会長の選出を年齢順ではなく、推薦か立候補制にして、65歳以上の人達に会長職を願いたい。
居住者数の正確さ、特に外国人居住者数に市から出された数字と実際との差が大きい(多文化共生会議に示されている数字の件)。
市と住民の壁がある。身近な存在(何でも相談室などあること)
現在、行政と各自治会とは、色々と行政の方で指導してくれておりますが、もっと自治会の良いこと、悪いこととかの意見を吸い上げ、地域との意見交換の場をもう少し持ってほしいかと思えます。
こうしたアンケートで市民が要望する声を聞き進めてほしい。定期的に(年2回程度)
表紙の裏の「次の6つの基本目標」は何ですか?
自分の自治会のことしか知らないような。他の自治会での良い活動の例をもっと知る情報をもっとほしい。市民全員がまちづくりとか自治会活動に興味を持てる何かがほしい。
市民の声を自治会を通して吸い上げるならば、市行政と自治会単位の会合を行うべきと考えます。現在は、多数の自治会出席で行っているが、これでは市からの報告のみになりやすい(各自治会で抱える問題は多様であり実態をするために)。
当アンケートの集計結果、特に問7についての各自治会の回答を知り、参考にしたい。大半の自治会長は“こうして運営していく”という自身のアイディアは持っておらず、居なければ困るという犠牲的精神で仕方なくやっているのが実状。少しでも他自治会の活動が参考になれば良いと思う。
誰もが参加したくなるような自治会組織づくり
地域の活動をよく理解して金と人、物の協力をお願いしたい。
各自治会からのまちづくりのための活動について、良いものであれば補助金等協力すべきであってほしい。自治会独自の活動について応援してほしい。
自治会長の会合や出席しなければならない事業が多く、仕事を持っている人では参加が大変だと思う。もう少しコンパクトにできないものか。
住民の自治意識を育てることが大切。民主主義とは自分勝手と考える人が多い。市行政が何もかも面倒を見る時代ではない。地域のことは地域で解決していく仕組みづくりが重要ではないか。

まちづくりへの意見
あなたの地区に出来るこんな活動！として各地区で行っている諸活動を紹介します。これによって奮起のきっかけがつかめるかも。協働などと構えられると、地区内で身の丈ほどの活動で良いとして協働に興味を湧かさない。小さな協働を実行して底辺を広げよう。
自治会への依存事項を減らしてほしい。自治会役員のなり手なし。
市営住宅の役員選びが困る。
自治会費だけでは自治会の運営が難しくなっている。老人憩いの家の維持や建替え、神社の維持、祭典の維持や運営等で費用の負担が住民に大きすぎる。
世帯数の少ない自治会のため、全ての催しの開催には無理がある。他地区との合同開催等も必要です。
自治会長の会合が多すぎる。
行政と自治会の間にある連合会組織は茶坊主的な存在になってしまっており、他の連携組織を再構築してはいかが（例えば、大阪枚方市の事例を研究して見てはいかが）。
自治会のあるべき姿とは何であろうか等の素朴な疑問がわいてくる。自治会長の仕事は行事をこなすことに集中するだけでなく、将来像（予算の使い方、街並み景観、互助他）等話し合う会う必要性を感じます。
各自治会（地域）で素晴らしい行事や活動がされていると思います。それらの活動に対し、市や社会へ貢献した自治会に対して積極的に表彰をしたらいかがでしょうか。すでにやられているかもしれませんが、表彰（形に残す）されると、やはり嬉しいと思いますし、関連している人もやりがいも出ると思います。毎年やっているから今年もやるという、やらされ的な活動もあるので。
協働作業の前進を目指し、住民意識の理解を得るための啓発活動を繰り返し地道に行ってほしい。
自治会の役割は少しでも住みよいまちづくりを行うのが本来の役割と認識している。きれいなまちづくりを念頭に活動したが、これ以外にも施策はあったと思う。各自治会単位で抱える問題解決が先決で、夢を持てる状況にないのが現実であると思う。
一自治会長としては難しいです。
自治会役員（特に自治会長）のなり手が無い。今のままでは自治会運営ができなくなってしまう。協働のまちづくりもいいが、その前にやることのあるのではないか。嫌なことは皆逃げてしまう。
平日の昼間、当自治会では高齢者と子ども（幼児）ばかりになってしまって、何か（事件、事故、自然災害等）起こると全然対応する者、あるいは協力できる若者が居ない。幸い今日までそのような出来事がないのが救いです。
行事への参加が減少している現在、中年者、高齢者が同時に参加できる、過去にとらわれない行事を企画したい。そのためにアンケート等の実施をする。特にアパート住民（外国人と日本人が混在）の多数参加できる活動を目指したい。ご指導と情報の提供をお願いしたい。多文化共生の市の活性化を期待します。
磐田市全体を考えてのまちづくりとすると、どこかの政治家の「住みやすい健康な町へ」と抽象的になり、わからなくなります。自治会長の立場からすれば、高齢化が進み単身生活者が増える中、隣近所の連携を深め顔が見れる姿の構築と自分達の地区は自分達で汗を流し行動するを基本に考えています。そのために市として連携、各種人材育成に援助をお願いします。

まちづくりへの意見
自治会に対する無関心な人が増えている。自治会の行事を回覧しても参加者が少ない。草刈り等の作業参加については年々減っているのが実状。しかし、イベント等で負担金なしの場合には、その時間だけ参加する。人間性の向上にはどうすればよいのか。
人口減少の一因となっている成婚率を上げるため、行政で未婚者の出会える場を多く作り、それを自治会長を始めとする住民がサポートしやすい体制を築く。具体的には各地区の公民館を拠点として活動をPRしていく。
非常に閉鎖的でなんともならないもどかしさの中、IT社会の中での生き方、考え方を少しでも広めたい。
まちづくりのためには、何といても拠点が必要である。野崎地区にぜひともその拠点（公民館）を設置していただきたい。
高齢社会の進行により、地域コミュニティが段々壊れてきているので、小さな地区でのコミュニティの拠点が必要となってきた（行動範囲の縮小、交流の希薄化）。市の積極的な施策による小学校単位のコミュニティ施設整備により地域社会づくりの再構築を市と地域の協働で取り掛かる。
会費規模 200 万円台の自治会の小規模公会堂の消防点検で、業者点検（4 万円/年）を求められるのは痛い。消火器は点検するより買い換えるほうが安くつく。1000 m ² 以下は免除趣旨を活かし、資格者点検の緩和を求む。
青少年が生きがいの持てる地域
市職員による自治活動への支援、指導、参画など積極的にやってほしい（地域任せ、自治会任せではだめ）支部長、地区長との連携強化。
市長の熱意を住民に知らせるための広報活動を推進するチームを作りたい。
自治会としては重複している施策（例えば防犯）を一本化するようにしてほしい。
職員の資質の向上と現場（自治会）へ出て体感すること。冒険しない、保身術に長けている課長や部長ではまちづくりはできない。
要望への対応が現在早くなっておりOK。まず、できることをスピード感をもっての対応はご苦労様と思っています。今後ともよろしく。
「変える磐田」第二ステージへ発進。笑顔あふれ、市民と共に進めている市民サービス第一の改革を市役所内部から外へ全ての組織団体（国県の出先機関、会議所、JA など金融サービス事業所 e t c）へ拡大し実施する市民運動へ発展させる。その為の動機付け、意識改革、組織体制づくりを提案。
水道料金をカード払いにしてほしい。浜松市はもう始めているので、ぜひ磐田市も見習ってほしい。
行政が自治会に御用聞きに回る姿勢が大事ではないか。
市長が言われる職員の意識改革は少しずつ進んできていると思われるが、今一つ職員が地域で汗をかき姿は見ない。地域で活動している人たちは皆さんボランティアである。職員も地域で何ができるかを考え、積極的に活動に参加していただきたい。
問題などの提起した時などスピーディーな対応をしてほしい。

まちづくりへの意見

図書館、公園、スポーツ施設、どれも利用者は市民の極一部の人のみ。明豊会にしても出席者は自治会へ強制する人が大半。何もしないことが無駄をなくすことになる。民間の施設(店)を利用してもらい税金を納めてもらうのが良い。何もしない度胸が必要。

自治会の活動はボランティア活動を多くしているが、市の職員が、それを当然のことと見ている。市のやるべき仕事を地区の人達が手伝っていると思う気持ちが感じられないときがある。こんな意見も取り上げられるかわからないし、このアンケート調査がただの事業とならないようお願いしたい。

色々やっているようですが、柱は何なのか。まちづくりのシンボリックなものを明確にしてください。強いリーダーシップが必要です。

平成 19 年度、磐田市総合計画基本構想から時代変化のスピード、そしてグローバル化が進んでいる中で、将来像(環境にやさしいまち)(誇りと感動を持てるまち)(安全安心に暮らせるまち)(交流と活力ある元気なまち)の目標は歳入の減っている中での実行は大変ですが、職員一丸となって基本サイクル Plan(計画) Do(実行) Check(評価) Act(改善) PDCA サイクル活動で一つ一つ改善を図り、夢のあるまちづくりをお願いします。

地域の特性を生かすため、全市統一的なものではなく、やりやすい方法を考えるべき。また、役所のアドバイスや援助をすべき。

自治会が抱える問題点(環境ゴミ、災害地震等、防災対策、高齢化、少子化・・・地域の連携(新旧および外国人との共生)強化が多く、その相談相手となるのは市・支所の担当窓口であるので、現場をよく知り自治会要望等迅速に対応できる体制を整え実践してほしい。自治会も頑張るのでよろしくをお願いします(現在市の対応は良い)。

高齢化が進み、自治会の運営そのものが厳しい状況に向かっていきます。そのような中で、現状の自治会の負荷が今後も継続できるのか市行政でも考えていただきたい。

地域単位と行政との話し合いの場を増やす。

今後も継続して行政の誠実な対応を望みます。

行政の役割、自治会の役割を的確に。

理想と現実をうまく調整してほしい。

渡部市長のお話を何度かお聞きしたが、本当に誠実で嘘がない。現在は景気が悪いためにお金がなく、なかなか実行できない部分があるが、これは市長のせいではない。今後も思った通りのことをやっていただきたいと思います。応援していきたくと思います。

行政あるいは自治会連合会の構想と単位自治会の現状、現実の間に大きな開きがあると感じる。単位自治会の力量は単位自治会ごとで違うし、環境も違う、考え方も違う、歴史も違う。それを画一的な指導や方針決定で強制しては本当のまちづくりにはならない。地域の実情をもっと知るべきでしょう。

市民に夢を持たせること(思い、懐かしい、やってみたい、そんなことできっこない、など)話だけでなく具体的なものにして。

行政が自治会への負担を重くしているきらいがある。

まちづくりへの意見
市職員がボランティアで自治会活動に協力できる体制を。
自治会役員のプライベートタイムがなくなるような企画、運営はなくしてほしい。自分は、人間として母親（97歳）を介護をし、孫の面倒をみる。この時間が削られるのが人間として一番つらい。渡部市長にはこの気持ちをご理解いただけないのが一番残念です。
ITを推進し、現状の大量の回覧物/配布物（紙）を削減していただきたい。現状は紙資源のムダ使い。自治会役員の手間も多い。
市への要望も支所を通してのものと議員を通してのものとの対応の違いがある。このようなアンケート調査したものをしっかりと結果をまとめて公表してほしい。
細かな配慮が足らず命令的であり、応答が高圧的である。田舎者にはそれで十分か。職員の礼儀作法（教育）を全般に、また定期的に行ってほしい。
市職員の10%減
安心安全のまちづくりについてどのような活動をするのかではなく、補助金をどのように使い切ることが論議されているのが実情である。余った補助金は返納すべく行政にて指導していただきたい。
金は生かしてバランス、用途、関連（つながり等で決めないで個人的に）
市長の人となり、考え方など一般市民には全く姿が見えない。こういう中で意見など持てない。地震などの災害対策より、それ程緊急重要でないことに多くのお金を費やしているように見える。
将来の子供達に借金が残らないような財政運営（健全な）を推進していただきたいと思います。収入以上に金を使わない。
市中心部の問題点ばかりです。市全体をもっと考えるいろいろな面があるのではないか。
磐田市南部の整備が遅れている。自治会に任せていることが多い。
中心部だけでなく、市全体が活性化するように努めてほしい。
市の中心部を考えてまちづくりが進んでいるように感じる。農村、漁村、山村全体を振興する策を考えたい。
行政にお金がないのは理解できますが、もう少しバランスのとれた事業を推進するのが望ましいのでは。
合併したことにより生じた地域間格差の解消
何事も旧磐田市中心の物事の考え方が目に余る。合併しないほうがもっと地域が生き生きとしていた。できれば元の豊岡村に戻りたい。
合併して6年経ちましたが、細かな行政的事項が全て旧磐田市中心主義であり、対等合併とは口ばかりで、実際は吸収合併に他ならず不満である。
市街地対策のみでなく過疎地となりかねない地区への対策強化と活性化に努めることを大切にしたい。
立地条件等地域（市中心部と山村部）によって違うので、皆同じ方向付けする必要はないと思う。地域に即した施策、方法で対応してほしい。
川（堤防）を中心としたまちづくり（川口から市の中心までの利用）
合併して良かったと皆が実感できることを信じています。

まちづくりへの意見

静かに落ち着いて暮らすまちづくりがいいですね。あわただしく忙しく暮らしたい人は「やらまいか」。浜松へ移ってくれれば良いです。

農業、工業、商業等のバランスをきちり保っていかなければと思う。

日本で一番、世界で一番だという、誰もが自慢できるものをつくってほしい。

磐田市のまちづくりは、基本となる日本国の国づくりを考えて、そこから磐田市へと導くことが今最も必要ではないかと考えている。物質文明が崩壊し、21世紀は精神文明の幕開けの時である。心の拠りどころ、精神の拠りどころが決まらなると前進することはできないからである。磐田という地方から日本国に対して発信できるかにかを考え出せれば最高ではないか。

4 参考資料

アンケート調査票

1 貴自治会のことについて

問1 貴自治会が主に活動されている地域はどこですか？

< 1つに 印 >

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 見付地区 | 2. 中泉地区 |
| 3. 今之浦地区 | 4. 岩田・大藤・向笠地区 |
| 5. 西貝・御厨・南御厨・田原地区 | 6. 天竜・長野・於保地区 |
| 7. 福田地区 | 8. 竜洋地区 |
| 9. 豊田地区 | 10. 豊岡地区 |

問2 貴自治会の世帯数は？

< 1つに 印 >

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 25世帯未満 | 2. 25～49世帯 |
| 3. 50～99世帯 | 4. 100～199世帯 |
| 5. 200～299世帯 | 6. 300～399世帯 |
| 7. 400～499世帯 | 8. 500世帯以上 |

2 地域（磐田市）の特性について

問3 みなさんが日頃活動されている地域の強み（良い点、活かすべき点）は何だと思いませんか？

< 3つまで 印 >

- | | |
|---------------|-------------------------------|
| 1. 地域の連帯感・協力等 | 2. 地域活動（コミュニケーション、環境美化、防犯・防災） |
| 3. 地域を支える人材 | 4. 習慣・気質 |
| 5. 自然環境・地形 | 6. 産業 |
| 7. 歴史・文化 | 8. 交通・立地条件など生活利便性 |
| 9. 景観 | 10. 公園などの施設の充実 |
| 11. 人口・世帯数の増加 | 12. その他（ ） |

問4 みなさんが日頃活動されている地域の弱み（悪い点、改善が必要な点）は何だと思いませんか？

< 3つまで 印 >

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. アパート居住者、外国人との交流等 | 2. 地域活動への参加・協力意識 |
| 3. 優秀な人材・リーダーの不在 | 4. 風習、気質 |
| 5. 環境問題 | 6. 産業（農業・商業等）振興 |
| 7. 文化振興（伝統の維持等） | 8. 生活環境（道路、交通、上下水道等） |
| 9. 防災対策 | 10. 少子高齢化、人口減少 |
| 11. 急激な人口増加（新規転入者の増加など） | 12. その他（ ） |

3 磐田市の今後の取り組みについて

問5 市では限られた予算の中で次のような取り組みを行っています。
今後の取り組みとして**特に重要であると思うものはどれですか？**
重要だと思うものを**5つまで選んで**、その番号（1～41の番号）を記入してください。

--	--	--	--	--

問6 前問で選択した5つのうち、限られた予算において、**特に優先すべきものはどれですか？**
優先すべきだと思うものを**3つまで選んで**、その番号を記入してください。

--	--	--	--	--

番号	項目	目 標・主な取り組み	
		目 標	主 な 取 り 組 み
1	環境保全の推進	目 標	環境にやさしいまちづくりを実現するため、健康で快適な環境づくりをすすめます。
		主 な 取 り 組 み	桶ヶ谷沼などの自然環境の保全 公害の発生を防ぐための水質調査や事業所への指導など
2	省資源・エネルギー対策の充実	目 標	新エネルギーの活用、家庭や企業での省資源・省エネルギー化をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	太陽光発電システムなどの設置の支援 市民や事業者への地球温暖化防止対策推進の支援
3	環境教育の推進	目 標	学校・地域・家庭での環境教育・学習を充実し、環境にやさしいまちづくりをすすめる人材を育てます。
		主 な 取 り 組 み	自然観察教室などの開催 小学生への環境教育
4	生活環境の向上	目 標	住みよい住環境を維持・向上していくため、環境美化などをすすめます。
		主 な 取 り 組 み	河川海岸清掃美化、ごみの不法投棄対策 市営霊園（墓地）の整備・管理
5	循環型社会の推進	目 標	リサイクルなどをすすめ、ごみの減量化をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	ごみの収集運搬 リサイクルや再資源化などの推進
6	上下水道の整備	目 標	安全で安心な水の供給や快適な生活環境を守るため、上下水道の整備をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	安全な水の安定供給、古くなった水道管の入れ替え 下水道の整備による公共用水域（河川、湖沼、用水路など）の水質保全
7	計画的な土地利用の推進	目 標	自然と調和した機能的なまちをつくるため、計画的な土地利用をすすめます。
		主 な 取 り 組 み	土地利用に関する計画づくり 地形や土地利用状況、交通の状況の調査
8	市街地整備の推進	目 標	土地の有効利用を図り、安全・安心・快適な都市環境をつくります。
		主 な 取 り 組 み	土地区画整理事業 磐田駅北口広場の整備
9	道路網の整備	目 標	人と環境にやさしい道路をつくり、管理していきます。
		主 な 取 り 組 み	幹線道路や生活道路の整備 協働 ¹ による道路管理（まち美化パートナー制度 ² ）の推進

¹協働 同じ目的に向けて、市民（事業者含む）と行政がともに力を合わせて活動すること

²まち美化パートナー制度 市民等のボランティアによる、市道、河川、公園、緑地などの清掃や美化活動等を支援する制度

番号	項目	目標・主な取り組み	
10	緑豊かなまちづくり	目標	市民の憩いの場となる公園や緑地を整備していきます。
		主な取り組み	公園や緑地の整備と維持管理 協働による公園の整備や管理の推進（ワークショップやまち美化パートナー）
11	住生活の向上	目標	安心して快適に住めるように、良好な住環境づくりをすすめます。
		主な取り組み	市営住宅の管理や建て替え 宅地開発や建築などの指導
12	美しい街並みづくり	目標	住んで誇りの持てる美しい街並みをつくるため、地域の特性を活かした景観づくりをすすめます。
		主な取り組み	景観づくりのための計画やモデルの作成 屋外広告物の規制や指導
13	公共交通機関の利用促進	目標	市民の日常生活を支える移動手段を確保するため、公共交通の利便性を高めます。
		主な取り組み	自主運行バス事業 ＪＲ新駅設置に向けた取り組み
14	地域情報化の推進	目標	情報化社会に対応した地域の情報化をすすめるため、情報通信技術を活用していきます。
		主な取り組み	メールによる行政情報の配信 市民及び小中学生へのパソコン教育
15	子どもの教育の充実	目標	ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな子どもを育てるため、生きる力・確かな学力の育成と信頼される学校（園）づくりを目指します。
		主な取り組み	少人数学級の推進と教職員の資質向上のための研修 施設の耐震化や校庭の芝生化

少人数学級 児童生徒数 35 人以下で 1 学級を編成すること

16	健全な青少年育成	目標	非行に走らぬ健全な青少年を育成するため、家庭教育の充実、地域での青少年育成活動の充実をすすめます。
		主な取り組み	家庭教育に関する講座や講演会 少年補導センターの運営
17	学習機会の充実	目標	多様なニーズに対応した学習プログラムの提供や読書活動の推進、生涯学習施設の充実を図ります。
		主な取り組み	公民館講座や出前講座（市職員が市民の皆さんに事業・制度を説明）の開催 図書館や公民館を整備・管理運営
18	文化の振興と歴史遺産の整備・活用	目標	地域の伝統文化の継承や歴史的遺産の保存・整備・活用とともに、市民による文化芸術活動を促進します。
		主な取り組み	文化芸術鑑賞会（展示会やコンサートなど）の開催 遠江国分寺跡など文化財の保全・整備・活用
19	スポーツの振興	目標	市民の健康増進・体力向上のため、スポーツのまちづくりをすすめます。
		主な取り組み	スポーツ施設の整備・管理運営 スポーツ大会やスポーツ教室などの開催
20	多文化共生と国際交流の推進	目標	日本人も外国人も地域社会の一員として、ともにまちづくりに参画する社会を目指します。
		主な取り組み	外国人市民への情報提供や相談窓口の設置、多文化交流センターの運営 市民の国際交流活動の支援
21	男女共同参画の推進	目標	男女が性別にかかわらず尊重され、あらゆる分野でともに参画できる社会を目指します。
		主な取り組み	男女共同参画に関する講座や講演会の開催 男女共同参画センター「ともりあ」の運営
22	地域防災対策・体制の強化	目標	地震などの被害を最小限にするため、防災対策や支援体制を強化します。
		主な取り組み	建築物などの耐震化に対する助成 自主防災組織の支援
23	地域防犯体制の強化	目標	市民の安全・安心のため、地域の防犯体制を強化します。
		主な取り組み	地域の防犯活動団体の支援 防犯灯の設置（支援）

番号	項目	目標・主な取り組み	
24	交通安全対策の充実	目標	交通事故をなくすため、安全なまちづくりをすすめます。
		主な取り組み	カーブミラーやガードレールの設置 交通安全教室の開催
25	消防・救急体制の充実	目標	消防車・救急車の効率的・効果的な運用を図り、安全・安心なまちづくりをすすめます。
		主な取り組み	消防施設（消防署や消防車など）の整備 普通救命講習会の開催
26	治山 ¹ ・治水 ² 対策の充実	目標	大雨などによる被害を防止するため、治山・治水対策をすすめます。
		主な取り組み	ポンプ場の整備 松くい虫の防除

¹治山 災害を防ぐために、植林・造林などをして山を整備すること

²治水 水害を防ぐために、調整池や護岸整備など河川を整備し管理すること

27	消費生活対策の充実	目標	安心できる消費生活のため、自立した消費者の育成・支援をすすめています。
		主な取り組み	消費生活相談の実施 振り込め詐欺などに関する情報提供や学習会などの開催
28	地域福祉システムの充実	目標	誰もが地域で支え合いながら安心して暮らすことができるように、支え合う地域づくりをすすめています。
		主な取り組み	福祉ボランティア活動の支援 地区社会福祉協議会 の支援

地区社会福祉協議会（地区社協） 市民の皆さんが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織

29	子育て環境の整備	目標	安心して子どもを産み育てることができる社会を目指し、子育てしやすい環境を整備します。
		主な取り組み	子育て支援センターの運営、子育て相談員の派遣 保育サービスの充実
30	高齢者福祉の推進	目標	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉をすすめます。
		主な取り組み	高齢者在宅福祉サービス（在宅介護手当、タクシー券、紙おむつ券助成等）の実施 高齢者相談・支援体制（地域包括支援センター など）の充実

地域包括支援センター 高齢者およびその家族からの相談の受付や、高齢者の見守り、心身の状態にあわせた支援を行う高齢者の総合的な相談・サービスの拠点

31	障害者福祉の推進	目標	障害のある方が地域社会の一員として暮らせるように、障害者福祉をすすめます。
		主な取り組み	障害のある方の自立の支援 障害者福祉サービスの実施
32	健康づくりの推進	目標	各世代の市民の健康を守るため、保健予防活動の充実や食育 をすすめます。
		主な取り組み	健康診査や健康教室の開催 食育に関する情報提供や食育活動の支援

食育 「食」に関する知識を身につけ、健全な食生活を実践できる人間を育てること

33	地域医療体制の充実	目標	安心して地域の医療サービスが受けられるように、地域連携の医療体制を築きます。
		主な取り組み	市立病院の機能強化 夜間休日等の救急医療体制の強化
34	農林水産業の振興	目標	農林水産業の生産力向上や安定した経営基盤をつくるため、農林水産業の振興を図ります。
		主な取り組み	担い手や後継者の育成支援や生産基盤の整備 地産地消 ¹ ・地産外商 ² の推進

¹地産地消 市内で生産された農産物などを市内で消費すること

²地産外商 市内で生産された農産物などを市外に売り出してお金を稼ぐこと

35	商業・サービス業の振興	目標	地域の特性を活かした魅力ある商業地をつくるとともに、新たな商業拠点を整備していきます。
		主な取り組み	空き店舗対策 商工会議所・商工会への支援

番号	項目	目標・主な取り組み	
36	工業・新産業の育成・振興	目標	競争力の高い産業を育てるため、産学官民の連携による新産業の創出や産業拠点の整備、人材の育成をすすめます。
		主な取り組み	中小企業の支援 企業誘致

産学官民 産業（企業）、学校（大学など）、官公庁（市役所など）、市民等（市民や市民団体、NPOなど）

37	観光・交流の振興	目標	観光・交流人口を増やし、地域を活性化するため、観光の拠点・仕組みづくりをすすめます。
		主な取り組み	観光施設の整備 観光の情報を発信
38	雇用環境の充実	目標	働く意欲のある人が生き生きと働くことができるよう、雇用環境の充実を図ります。
		主な取り組み	求職者への適切な情報提供 自己啓発などの支援
39	市民の力を高める	目標	市民が幅広い分野で活躍できるように、まちづくりに対する参加意識を高めるとともに、活動を支援します。
		主な取り組み	まちづくりサポーター制度の実施 行政情報の提供（広報いわたの発行やホームページの運用）

まちづくりサポーター制度 「まちづくり活動をしてみたい」、「知識や技能を活かしてみたい」という人にサポーターとして登録していただき、その力を借りて社会参加活動を充実させたい団体等とサポーターとを事務局が橋渡しすることにより、まちづくりやボランティア活動をより盛んにしていこうという制度

40	地域の力を高める	目標	コミュニティ組織の充実、市民活動団体・リーダーを育てることにより、地域力を高めます。
		主な取り組み	自治会・自治会連合会の支援 市民活動団体の育成
41	行政の力を高める	目標	限られた財源で、より良いサービスを提供するために、行財政改革を推進し、行政力を高めます。
		主な取り組み	行財政改革の推進 職員の資質向上

行財政改革 単なる経費節減・増収を図るだけでなく、市の事業の効率性と質を向上させ市民へのサービス効果を高めること

4 協働のまちづくりについて

問7 これからのまちづくりは、行政だけでなく、多様な担い手の協力が必要です。既に市内でも地域の問題解決や住みやすい地域にするための住民活動が動き出しています。そこで、貴自治会で地域のために取り組んでいる具体的な事例や工夫してあることがありましたら、ご紹介ください。また、今後取り組みたいと思っていることもお教えください。

<箇条書きでご記入ください>

現在、取り組んでいること

.....

.....

.....

.....

今後、取り組みたいこと

.....

.....

.....

.....

問8 自治会活動をする上で問題点などがありますか？

< 3つまで 印 >

1. 役員のなり手が少ない、又は調整が難しい
2. 定例的な地域活動への参加者が少ない
3. 高齢化が進み、若い人の参加が少ない
4. 自治会の会員（会費収入）が少なくなりつつある
5. 会費以外の収入が少ない、又は資金を確保する方法がわからない
6. 活動に伴う役員の責任が重い
7. 集会などの活動を行うための場所の確保が難しい
8. 他の自治会の活動状況やボランティアに関する情報が少ない
9. その他（)

問9 貴自治会では、今後、市民・行政の協働のまちづくりへの関わり方についてどうお考えですか？

< 1つに 印 >

1. 積極的に協働のまちづくりの一翼を担いたい
2. 求められれば参画する
3. 興味がある内容なら参画したい
4. 協働の必要性を感じていない
5. わからない
6. その他（)

問10 自治会と行政の協働のまちづくりを進める上でどのようなことが重要だと思いますか？

< 2つまで 印 >

1. 自治会と市との間での情報の共有化（情報提供、身近な窓口の設置など）
2. 政策立案に自治会が関与できる機会を増やすこと（地域別説明会、市政懇談会など）
3. 活動や組織の強化に対する支援（業務等の委託、資金調達支援など）
4. 行政との協働まちづくりの試行的事業の実施
5. 市職員の意識改革やコーディネート力の向上（地域学習、地域に足を運ぶ機会を増やすなど）
6. 自治会の意識改革（市の事業などへの積極的な参加・関与）
7. その他（)

5 まちづくり全般について

問11 これからの磐田市のまちづくりのためのご意見やご提案(アイデア)、夢など、どんなことでも結構ですので、自治会長としてのご意見をお聞かせください。

アンケート調査にご協力ありがとうございました。

1月31日(月)までに、返信用封筒に入れ、お近くのポストにご投函ください。

平成 22 年度 磐田市自治会意識調査報告書

平成 23 年 3 月

発行：磐田市 企画財政部 政策企画課
磐田市国府台 3 番地 1 〒438-8650
TEL：0538-37-4805 FAX：0538-36-8954
E-mail kikaku@city.iwata.lg.jp